

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-67)、  
廃棄物管理施設(42))」

2. 日時：令和5年6月19日(月) 13時30分～16時10分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

#### 4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、岸野主任安全審査官、羽場崎  
主任安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX 設工認総括副責任者 他2名

関西電力株式会社

原子力事業本部 プラント・保全技術グループマネジャー 他1名

東電設計株式会社

土木部 耐震技術部 担当職

#### 5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの6月16日提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。

- ・「基本地盤モデル」の設定について
- ・岩盤の物性値等に係る検討について
- ・岩盤の非線形性に係る検討について
- ・岩盤の減衰定数に係る検討について
- ・表層地盤の物性値に係る検討について

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・基本地盤モデルの設定についての資料をまとめる際には、一般的な地盤モデルの作成方法の説明から、4因子に対しての検証の必要性、検証結果の基本地盤モデルへの反映の考え方がわかるように体系的に説明する。
- ・特に表層地盤の検証において、資料上でのデータの位置づけや関係性の説明が不十分であるため、データの素性から、その見方や結論との関係性に

ついて、丁寧に説明する。その他の因子の検証においても、同様の説明とする。

## 6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。

## 7. その他

なし

## 参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000120.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000121.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000122.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000123.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html)
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請

を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000124.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html)

- ・ 令和5年6月16日  
「日本原燃(株)再処理施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
00:00:01	返しました。
00:00:05	規制庁の竹田です。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。本日のヒアリングは、令和4年の12月に申請があった、再処理施設及び廃棄物管理施設について、
00:00:17	6月16日に提出があった資料と本日提出があった資料をもとに技術確認を行うものません。まず、本日、資料ないので、それは、
00:00:28	議題とつないてください。
00:00:31	はい、承知しました。
00:00:33	それでは6月16日の資料を基に事実確認を行います。
00:00:39	まず規制庁側の出席者ですが本庁側で出席者の紹介をお願いします。
00:00:46	規制庁深見です。
00:00:48	戸川から上出側先岸野、日下区、
00:00:52	修正、
00:00:59	規制庁だけですそれからWEBからは私竹田が出席しております。それでは日本連の方から出席者の紹介と、出席者の役割、
00:01:09	それから本日のヒアリングでの説明範囲と達成目標の説明をお願いいたします。
00:01:17	はい、日本原燃事務局中浜です。
00:01:21	日本原燃側の出席者紹介いたします。
00:01:25	STチームより、決得。
00:01:28	今村。
00:01:29	石原。
00:01:31	関西電力様の野本様、石黒様。
00:01:36	耐震関係で、
00:01:38	発生当然設計より、
00:01:41	宇野様が参加してございます。
00:01:45	それでは資料の補御説明を開始させていただきます。
00:01:53	はい。関西電力野元でございます。本日のご説明ですけれども、まだ6月今日6日に
00:02:01	しております補足説明資料に入るべきA4のワードの資料の方で、ご説明というふうに考えてございますが、
00:02:13	あれポイントを

00:02:15	資料の本日のご提出に加瀬委員は、政策の資料は明日提出。
00:02:23	明日のものとして、事務的に受理するだけでするのでヒアリング資料じゃないですから、
00:02:30	はい。す、同じものということでヒアリングで提示されてる、先週出されたもので、
00:02:37	話を今日はしたいと思いますけど内容に違いがあるんであれば補足してください。
00:02:44	一方、いただきました。そうしますと特にですね等を立てる審査会合資料そのものがですね、何か
00:02:53	遊佐といいますかあの辺は生じてるところでございませぬので、6月16日の提出の資料につきまして、まずはご説明差し上げたいと思います。
00:03:04	5種類ご提出しておりますけれどひとつご説明させていただくような段取りでよろしゅうございますか。
00:03:16	はい、どうぞ。
00:03:19	ちょっと、まとめてご説明いただきましょうか議会在がどれぐらいいただけるかによってもまとめてご説明した方がいいかなというふうには思い
00:03:28	ます。
00:03:29	でき高、
00:03:30	お聞きいただければと思います。
00:03:32	規制庁深見です。一つずつ簡単に説明
00:03:39	はい、承知いたしました。それはサーバー一つ目ですね基本地盤モデルの設定についてでございます。こちらは4人日の説明をまとめた形での、最終的
00:03:52	に我々基本地盤モデルを設定いたしますと、いうことを書くべく作成している資料でございます。
00:04:01	で、これまでのですねご確認の内容を踏まえまして、今回ですねモデルの基本地盤モデルとして、記載をしてございますけれども、
00:04:13	減衰要するに書き方につきましては、今後の検討を踏まえて、また別途設定すると言った時期で、これは北井公文でございます。
00:04:22	でも大平甲斐小代と同様にですね、検定基盤モデルにおける徹底の反省点とそれと、これまた状態変化を踏まえた確認事項。
00:04:32	みたいな形で、最終的にこういうふうにとまとめました。

00:04:35	それぞれの因子についての設定は、四つのそれぞれの資料、
00:04:41	環境するという構成でこの平賀生田目でございます。以上でございます。
00:04:49	規制庁の竹田です。ありがとうございます。それではこの処理につきまして規制庁側から確認等あればお願いいたします。
00:04:57	規制庁深見です。これは
00:05:00	もう減衰がまたポンドっていう形になっているので、今何か確認をするっていう資料でもないですし、
00:05:08	また審査会合においても、補足説明を積んでという話がありましたが、この資料は関係ないと思っていいんですね。
00:05:19	関西電力の郷でございます一応ですね基本地盤モデルという形での何て言いますか、各市に対するモデル設定の考え方の、
00:05:32	真木一応決まって、下水道が決まっている部分とかもございまして
00:05:37	詰めた形でこれは詰まっていたのかという考えで我々を見ておりました。
00:05:43	規制庁神です。7 ページなんか全部対 G であるし、
00:05:48	3 ページ以降の内容も会合資料か何か肉付けがあるかということ、特になんか思っていて、あの会合で、すいません、小阪です。あの会合で友野は原燃の勝手なので、全然構わないんですけど、
00:06:03	内容がありませんねってということだと思います。
00:06:06	もともとですね、
00:06:10	資料の位置付けとしても、まず最初に設定の考え方があってそれをもとに、要員紙が出てきて、その結果として設定していくと。
00:06:22	ということの、上流と下流がこの資料に入っているという理解でいるんですけど。
00:06:27	現在はその理解で合ってますか。
00:06:31	関西電力の郷でございますはい。田井上流と最下流はここに入るとそういうことでございます。で、池酒井ご披露の 18 ページにですねモデルを今日基盤までの一応、今回もですね決まるところだけお示しするので、それがこの補足で、
00:06:47	むしろのところにちょっと何がまずかろうと言うお考えのもとに我々これを準備させていただいたものでございます。
00:06:55	はい、古作です。その点では
00:06:59	どちらでもいいんですけど、

00:07:01	入口、ちゃんと整理してねじゃないと4市出てこないよねって言った話が、
00:07:12	結局何も書いてない資料になっていて、
00:07:18	一体何だったのっていう感じなんですよ。で、別途これまでの補足説明資料だったり、添付書類だったりモデルの設定方法とかは、ある程度、
00:07:31	るのです。わざわざ書かなくてもって思ったのかもしれないんですけど、
00:07:36	何か基本に立ち返ってっていう姿勢がこの資料から全く見えないんですけど。
00:07:43	あ、
00:07:44	与えることもございます。おっしゃる通りでちょっと中途半端な、今の言っていた趣旨をちょっと十分にできてないということに、
00:07:55	気づきましたので、
00:07:58	加賀さんにちょっと時間もあれですので、これだからさっき上出さんがおっしゃっていただいたように、これ、生まない形で4日だけお示しするっていう形で、
00:08:10	やらせていただきますでしょうか。間野いずれですねこのチーム長じゃないかと。
00:08:19	てなかったですかね。
00:08:25	ちょっとすぐに別途何か事務的な確認をしてください。
00:08:33	はい。これを
00:08:34	お出ししてる位置付けになってるかどうかということですね。はい。
00:08:39	基本、これがついてなくても結局、欲しい情報は入ってないので、
00:08:45	意味はないかなとは思いますが。
00:08:50	協議いたしました。そしたらこちら取りだけいただくことと、いう形で今回やっていただくのがおそらく一番良いのかなというふうには思いましたそういうことにさせていただきたいと思います。
00:09:08	はい、規制庁上出です。
00:09:12	あとは、
00:09:13	ちょっとこの資料については特に何も、
00:09:16	なくてですね、ちょっとすみませんこちらの手違いで、我々本庁側の会議室がちょっと移動しなくちゃいけないのでちょっと一旦、どこも止めさせていただいて、また再度つなげ、

00:09:30	たいと思いますけど、原燃よろしいですか。
00:09:35	はい、承知いたしましたお待ちしております。お声がけをお待ちしております。はい。すみません。
00:00:00	はい。関西電力でございます。では次のですね広井ですけれども岩盤の物性値等の設定についてにつきまして、6月16日R1のバージョンですけれどもこちらについてご説明いたします。
00:00:13	グループです。
00:00:15	前回の
00:00:17	0からの変更点
00:00:20	前回のですね投稿ご確認いただいた際に、この資料の中で、その2番の募集と決める上での判断に
00:00:28	をきちんとわかるように記載すること。
00:00:31	ということでコメントいただいておりますので、ですね例えば、右下の6ページのところで、この複数本のデータに基づき、締結の場合か、単独の
00:00:46	本項に基づく場合かといったような書き方の違い、それから、右下13ページのところで、
00:00:54	そういうところで各グループのですね、このPCを単品では周辺における分析ですけれども、
00:01:00	このですねポーリング孔のデータをですねどのように用いて分析を設計したかというところの特に尺度構造が同じようにあたって変えるところ岩種の違いに、いわゆる平均値をとるですとかそういうところの考え方を、
00:01:17	こういうところで、きちんと分かるように書き分けた。
00:01:21	いうところでございます。
00:01:23	41ページのところですね、ここAにおける表布施
00:01:28	に決まって、Bの4項を受けること理由について
00:01:33	ということで、遅めていただいておりますのでそのところは追記しているか。
00:01:37	いうところでございます。
00:01:39	全体とひいてそうですね。はい。本件についてのご説明は以上でございます。



00:01:46	はい。規制庁の竹田です。ありがとうございます。それではこの処理につきまして規制庁側から確認あればお願いします。
00:02:03	規制庁の岸野です。へえ。
00:02:10	13 ページ、
00:02:19	下の方の下線の説明が追加されていて、
00:02:24	これは前回のヒアリングの時に、
00:02:29	質問した
00:02:34	手順って言うと 21 ページ。
00:02:37	の、
00:02:38	七つの柱状図とその下にある計算式について、ちょっと確認を。
00:02:45	するよう求めたものに対する説明が、
00:02:49	この 13 ページに加わってきたものと理解。
00:02:53	したんですけれども、
00:02:55	ちょっと書いてる内容がよくわからないと。
00:02:59	教えてください。まず
00:03:02	下から三つ目のパラグラフの下線が引いてあるところですかね。
00:03:06	下から 2 行目でそこの切りかわりが見られないと説明がありますが、
00:03:13	切り替わりっていうのはなること。
00:03:15	後どの程度の差分があれば切り替わりというふうに直してる。
00:03:19	いった辺りをもう少し教えていただけますか。
00:03:25	はい、日本原燃の大橋でございます。どの程度の切替わりかという話であれば、ちょっとそこというのはここの判断にはなってしまうんですが、少なくともこちらの周辺というところに、
00:03:36	きましては、右下の 14 ページから 10、
00:03:40	9 ページまでございますけれどもその際に、鷹架層と泥岩のところ、すいません、細粒砂岩と泥岩層のところ、速度境界があるところというのが、確か一つだけちょっとこの、
00:03:52	18 ページでしょうか。ベリーファイブ高というところですが、そういうところのそこが唯一少しだけあるというところで、他全然ない。こちらの以降につきましてもどれぐらいデイリー配布につきましてもどのくらいの差があれば影響ないと見るかというところでございますけれども、
00:04:09	大体あの、%ぐらいの、プラマイ 10%ぐらいの差の切り替わりしか速度のコントラストがないというところでございます、その他がほとんど

	全く速度境界が切りかわりがないというところも含めまして、ここの細粒砂岩層と泥岩につきましてはないというふうに速度の切り換えがないというふうに判断したというところで、
00:04:27	すいませんこちらの考えとしては以上でございます。
00:04:30	規制庁の岸野ですはい。
00:04:32	今切り替わりという言葉が頻発されたんですけど、こういう速度構造の説明において切り替わりと。
00:04:42	もしそうであればですね、
00:04:45	そういう概念のもとでの説明と、
00:04:55	日本原燃のガスでございますちょっとすみません確かに切りかわりというところとか、
00:05:00	うんそうですねあまり他で使っていない言葉ですので、そのところで使っている言葉でいけば、速度境界とかないし速度のコントラストとかそういった言葉になるかと思っておりますのでちょっとそこは、
00:05:10	すいませんちょっと他のところ富井に比べてですね速度のそちらの言葉の使い方は再考したいと思う。
00:05:20	13 ページの文章。
00:05:25	その一つ上で述べ
00:05:36	物図の、
00:05:40	こちらで各、
00:05:47	丁寧に、
00:05:51	はい、日本原燃の加瀬でございます大変申し訳ございませんちょっと記載が横着になっておりましたきちんと項目はどの図を見るかというところをきちんと明記した上で何と何の項を見比べて、はい。
00:06:03	速度こう切りかわりにすみません速度境界がないとかそういったところがわかるように具体的に廃棄するようにいたします申し訳ございませ。
00:06:11	先生の
00:06:14	同じように
00:06:23	ちょっとは
00:06:24	ページ
00:06:30	ここの説明というのが、前回ですね。
00:06:38	この後に出てくるボーリングアート 5 地点の PS 検層結果ですかね、90 ページだ。

00:06:48	もう、5 地点あるのに、下の数式だと 4 時点ではカウントしてないようなところもあるよねというようなことについての説明を求めたものなんですけれども、
00:06:59	お礼
00:07:05	先ほどの
00:07:07	80、
00:07:08	2 ページの文章というのは、
00:07:13	4 時点で、平均をとることの妥当性の説明になってるようには読めないんですけれども、これはどういう説明をされているのでしょうか。
00:07:25	はい。日本原燃の大瀬でございます。こちらでちょっとすいません言いたかったことにつきましては、直接 4 地点で平均していることなど、何か 90 ページでというところの話からいきなり始めるのではなく、
00:07:38	我々としての考えとしてっていうところで、まず速度構造をどこで平均化しますかという話から、始めることといたしました。こちらの 90 ページに示している、こちらの図の下のところの、
00:07:49	四つの項で平均しているとかっていうところにつきましては基本的にこの地質境界、岩種境界といいますかそちらのところの求め方というところで今書いて、
00:08:01	ところでございます。ただ一方で、速度強化速度境界ですかね、の決めとか実際の VS のその平均化の考えとしてはここを使っているっていうところがございますので、まず速度としては五行使って問題なかろうということを書いているというところで、
00:08:15	その一方で地質関係に関しましてはその境界の決め方に対しましては、そこで同情する主要な慣習がある、出ているエコーだけを見て、当然そこにつきまして平均化するというところの手順でやってございますのでその差としてちょっと出ているところで、
00:08:29	ですのでこちらの 81 ページですか、に書いている文章につきましては、主重立ったところではその Vs の平均化の考え方そちらについてちょっと記載をしたところございました。まず作成の考えとして、
00:08:43	清町の岸野です。はい。そういう考え方があってそこからスタートしてる。
00:08:48	で、
00:08:50	4 で終わっている

00:08:52	ある 1 時点では層境界が認められないような地点も含めて、
00:09:05	日本原燃のガスでございますちょっと語尾の方がすいませんちょっと音が途切れたので、ちょっとすみません、言われたことと違ったら申し上げ、仰っていただければと思います。一応ですねこちらの 81 ページのところの文章でございますが先ほど申し上げました通り、こちらのページの下半分からっていうところにつきましては、
00:09:23	速度境界の説明について申し上げたところを説明しているところで、
00:09:28	一方で、すいません足りないというご感想になるのかもしれませんが 81 ページの上のところの、2 段落目でしょうか、こちらのところで、この岩種境界として設定する、先ほど岸野さんおっしゃっていた 4 法で平均してるとかっていうところにつきましては、
00:09:42	こちらの 2 段落目の 4 行のところ線引いている。
00:09:45	ですね、複数の方において分布する主要な岩種が現れるところを平均化施設の岩種境界レベルを設定しているというところで考えの方は記載しているところでございます。すいませんちょっとか記載の意図としては、
00:09:58	規制庁の岸野です。今のご説明だと質問に対する答えになっていないんですけど、
00:10:03	5 個あるうち 1 校が、層境界が認められてないんで、残り 4 校で平均したやつを認められない方に、
00:10:15	それに対して今のご説明は、適用しますとかいう答えてないと思うんですね。
00:10:20	どうしてそれでいいのかっていう観点。
00:10:32	よろしい。はい。すいません日本原燃の緒方でございます。こちらにつきましてはすみませんちょっとどこに書いて探しながらそれ言って申し訳ない。
00:10:43	6 ページのところに、共通的な考え方、今の岸野さんのご回答、ご質問に対する回答も入ってると思っているところが 6 ページの記載に変えております。
00:10:53	はい。6 ページのところの今回の下線を引いたところでございますけれども、各層のダンシュの設定いわゆる岩種境界の設定にあたっては先ほど申し上げました主要な単収における境界レベルというふうになってございました。

00:11:06	そこの2行目のところにもその下のなお書きのところですね、ここですいませんちょっと薄層はってというようなところで書いていて⑨水素の話だけのことを書いていたところだったんですが、基本的にその核種の違いというところ、また、
00:11:20	からっていうところですね、岩種の違いというのはあくまでその非線形性の一番また難波のところの違いだけでございますというところで、別途作っております自然系の方の資料でその影響というのがほとんどない、非線形性岩盤の方につきまして影響がほとんどないというところがございますので、この岩種境界に、
00:11:37	きましては、あくまでその主要な断層を考慮することで、この入力地震動の算定上は問題なくて、あくまで証拠で速度境界
00:11:44	ふうに決めるかの方が、企業としては大きいものになりますので、どちらを優先するかといましては、速度境界、これをきちんと平均化する、できるかどうかの検討をメインにいたしまして、岩種境界につきましては、見れる範囲で同じとみなせる範囲はみなす。
00:11:58	みなさなくてもその影響というのは非常に小さいであろうというようなところの考え方に基づいて今回ここに90ページでしょうか、に示しているようなところの検討については実施しているとするような位置付けになって、
00:12:10	以上です。
00:12:12	部長の岸野
00:12:13	私の理解が間違っていたら、
00:12:16	そういう考え方でこの資料
00:12:30	整理、それは日本原燃渡瀬。
00:12:37	すいません日本原燃の大賀ですねすいません。岸野さんがおっしゃったことは逆の地層で作っています。速度境界、Vs構造というのは非常に重要だというふうに考えてございまして、それにつきまして果たして、先ほどの9590ページにあります2施設周辺
00:12:54	地下構造なんかがちょっと違うんだか地下構造とか、岩種境界がちょっと違うんだけど、というところにつきましても、きちんとVsを平均化していいかという観点で確認して、きちんとそれが一緒だとみなせるのであれば平均化をきちんと入れてやるというようなところの考えに基づいてやってございます。

00:13:09	なので今の岸野さんの伊藤とはちょっと違うようなところあくまでVs というのはきちんと重要であろう。逆に愛知岩種協会というところにつ きましてはほとんど影響がありませんので、あくまで速度が同じとみな せば、その岩種境界につきましては、その、ちょっと特異なものがえ られているところにつきましては無視して、
00:13:26	他のところの共通的なところも平均で作ることで問題なかろうと、そう いうような意図で今回は作って、
00:13:32	以上で、
00:13:34	それと、
00:13:48	その前のページで、
00:13:50	説明を求めます
00:13:55	影響がないものと、
00:14:02	あと
00:14:04	衛藤岩種。
00:14:10	だったら今日鏡通り
00:14:14	その速度境界
00:14:16	境界を定め、
00:14:31	すいません関西電力の方でございます。
00:14:33	こちらのですね音声変わりませんもう一度ちょっとおっしゃっていた いてもよろしいでしょうか。
00:14:42	院長の三品です。
00:14:44	先ほどの小形さんのご説明が資料上読み取れないということをまず申し 上げたかったです。なので、具体的に会社境界を気にせずに、速度境 界、速度構造、コントラスト等で、
00:14:58	ここは問題ないと判断しましたっていうことであれば、PS 検層の図等 でこことここに着目してっていう説明を 82 ページにも、ちゃんと加え てくださいというのが、1 点目です聞こえましたでしょうか。
00:15:12	戸次。
00:15:13	関西電力の茂呂でございます。ありがとうございます。承知いたしま した。こちらこちらの、
00:15:20	理解いたしました。ありがとうございます。
00:15:23	規制庁の岸野です。はい、理解されたということはお対応いただける ということですね。

00:15:31	関西電力の方でございます。もちろんでございます。
00:15:34	社長の岸野ですって、あともう一つ言ったのは、岩種境界で判断はしないで、速度境界で判断するっていうのであれば、
00:15:45	もう1点あるデータ全部使えるんじゃないんですかっていう質問なんですけどその点はどうなんだ。
00:15:50	呼んでおる市長ってのはどういうところにあるんだらうかということです。
00:15:57	はい。日本原燃の加瀬でございますすいません今の内野さんのご質問にダイレクトに答えますと、そちらの地下、岩種境界が違っているものにつきましても速度構造、速度構造に着目するのであれば5地点使えるのではないかとということにつきましては5地点使っておりますという返事回答に、
00:16:14	なりますその考えにつきましては81ページの下から6行目から、
00:16:20	のところで書いてございます。施設周辺の速度構造については、地質構造に違いが見られるKPポンプ含めて平均化を、
00:16:28	それでよかろうという速度境界、構造の考え方上はよかろうという考えがそれ以下に該当するということで、
00:16:34	以上です。
00:16:40	性凝灰岩の層の上限レベルとか決まり様の上、
00:16:45	これ
00:16:48	これは、
00:16:49	今のご説明で説明できております。
00:16:54	はい。日本原燃土橋です。90ページに書いているところの下の、つというのはあくまで地質境界の高さを決めるときに、4地点見てますという、そういうような意図です。ですので先ほどの速度構造の、
00:17:06	時に使っているものとはその没水している数が違うということになる。
00:17:13	便宜上地質、地層境界を、
00:17:20	1点目について
00:17:21	の構造
00:17:22	速度のコントラスト、
00:17:25	変えないと。
00:17:26	そういう
00:17:29	そこら辺はどの、

00:17:31	どの分のどこに
00:17:33	そう判断したかと。
00:17:36	追えるようにですね、説明の
00:17:42	出ることがございます。周知いたしまして今私も聞いてて少し鳥羽は、
00:17:47	てるなということに気づきましたので鳥羽のところをきちんと分かるように記載する
00:17:52	対応させていただきます。よろしく願いいたします。はい。規制庁の木曾です。今のやりとりってのは、要するにですね各グループの中で、直下とかのデータ替えられて、
00:18:04	複数あったらそれを平均しても差し支えないというような判断のご説明であり、
00:18:09	一方で、1校しかないものについてはそれをそのグループ全体に適用しますという、
00:18:15	ことについて説明がないわけなんですけれども、第1回申請の4Bのときはですね、4D直下にPS検層孔がなかったので周辺のPS検層9を使うんだけど、
00:18:29	適用するにあたっては、FO-B直下にPS検層じゃないけどボーリング柱状図があって、それと見比べてできました問題ないでしょうということころは、最低限確認の上で適用していたと思います。
00:18:41	今回ですね、各グループの中の平均ないし1校から定めた
00:18:48	構造がですね、そのグループの中のすべての建物に適用としていることにあって、少なくともこれは全然違う地層だよなんてことはないってことは確認されているんだろうなと思うんですけどそれはされてるという理解でよろしいですか。
00:19:11	はい。日本原燃の加瀬でございます。今のお話に対しましては、すいません今回考慮しております12グループという、それがすいませんある意味我々最小単位だと思っていたと。
00:19:23	ところではございましたけれども、その中である程度こう満遍なく、ボーリング孔というのが出ている。
00:19:30	今木野さんがおっしゃった1校しかないというところにつきましても、ほぼ密集したところにつきましての、密集したエリアなんてやっぱありつつも密集しているところでの1本というところでございますので、



00:19:42	こちらにつきましては、基本的にこの取れているところの直下皇太子の一本のところのデータを使うというところに問題はないというような考えでちょっと我々は考えて、
00:19:52	ところでございました。
00:19:53	以上です。
00:20:04	はい。日本原燃の加瀬でございます 7 ページでございます。ツールがございませけれども、4B のときは何だったのかと言いますと、いわゆるこの A4B のところに水色の四角で囲っているところですが、ここにボーリン
00:20:19	というような状況だというふうにしています。ですので今の考え方に当てはめればお隣のグループから、ボーリングを持ってくるっていうようなことをやらなきゃいけないと。
00:20:29	ですが、今回作りしました 12 グループえんじ色月岡、黄色の枠で囲っているところにつきましてはそれぞれのエリアでボーリングがありますので、曜日等はそういう意味で差別化できているのかなというふうに考え、
00:20:45	僕も正しい
00:20:48	ボール
00:20:52	で、
00:21:01	FO-B は、
00:21:14	遠方中
00:21:15	PS 検層。
00:21:16	それ、
00:21:20	見比べて、その週 NDS 検層孔の速度構造がオービィとかにも使えるよねっていう確認を、
00:21:28	していたというご説明を受けているんですけども、
00:21:31	それと何の違いがあるのか、差別化ができるという意味がよくわからないんですが、
00:21:36	教えていただけますか。
00:21:43	はい。日本原燃のガスでございますすいませんそういう意味でいきますと今岸野さんおっしゃったような穏便とか、
00:21:49	まあまあそこそこ出られている柱状図を参照した上で、その同じグループであろうとそこのボーリングが使えるかという検討につきましてはす

	いません今のところ考えていなかったところでございますのでちょっと追加で検討の方はさせていただこう。
00:22:03	はい。検討の要否も含めてはいすいません考えさせ
00:22:09	すいません。
00:22:11	もともとですね、集まってる、密集してる建物
00:22:17	もそう大きな違いはないものと、
00:22:19	思っております。ただ、一応確認としてですね、明らかにここだけ全然違うものが、
00:22:25	もし万が一あった場合、
00:22:28	皆さん直さなきゃいけないところも、
00:22:31	ので、一応ですね各施設直下の情報等に基づいて、ここ、この設定で正しかったという検証の方ですね。
00:22:41	同時に、進めるべきかと思いますので、そういった方法方針なんかはご検討いただければと思いますけれども、よろしいでしょうか。
00:22:52	はい。日本原燃の長谷ですかしこまりました。以上です。
00:22:57	東郷加来清町側からこの書類について確認をさせていただきますでしょうか。
00:23:12	規制庁古作です。これも先ほどと一緒になんですけど、
00:23:16	入口があい、余りにも the II で、
00:23:20	今もずっと話があって平均化するっていうのが一般的だと。
00:23:24	いうことを前提にして、
00:23:27	平均するのは当たり前だ。だから、こういうふうにするんだと。
00:23:32	いうふうになってんですけど。
00:23:34	なんで当たり前なのか。
00:23:37	何を根拠にしてるのかっていうのが、全く説明がないように
00:23:42	思うんですけど。
00:23:43	そこはどうお考えなんでしょう。
00:24:02	考えているものでございます。ちょっと細かいところかも格好といたしましてちょっと岩元に対して、我々の認識は、今回 12 エリアでの検討が 100、
00:24:15	1000 になっていて、その中にエリアそれぞれの中は、一つとして、扱うことを前提としていけと出発したのでこういうふうな、
00:24:26	すいません、補足です。イメージ、すいませんけど、準備がスタートではなくて、

00:24:37	はい。10メディアがスタートではなくて、
00:24:40	一般的標準的な方法でやるというのが入口です。
00:24:45	まだ中にエリアに入る前に、
00:24:48	そういったところをしっかりと述べようということになって、その入口として先ほどの資料があったけどそれがちゃんと書いてなくて、それを受けて、4種の
00:24:59	中での、
00:25:00	一般的標準的っていうのを書くのが、この資料の2ページ。
00:25:09	4ページですね、通し4ページに、真ん中の2ページのページであるはずで、
00:25:16	ここで、
00:25:17	述べるときに、ポツ三つ書いてますけど、
00:25:22	一つ目は当然かなっていう気はするんですけど、
00:25:25	二つ目は、この分析はどこから出てきたんだよっていうのがわからないわけですよ。
00:25:31	で十分であるっていうのは、
00:25:33	何か見解が、
00:25:35	述べられるっていうこと自体が私には理解できない
00:25:42	うん。
00:25:44	関西電力の方でございます。このですね記載はですね、見解を述べているという位置付けではなくてそこの本京都作業の方でちょっと
00:25:56	書いてはおるんですけども194601での内容を必ずした形で、一般的にはこのような、
00:26:07	考え方が用いられていると、いうことをここは述べたつもりの文脈でございました。
00:26:14	と古作です。全くそういう文脈にはなっていないので、
00:26:18	そうであるならばしっかりとそういうふうに書いてください。
00:26:21	ここで書いてあるのは、
00:26:23	ポツの前に、以下の方法が標準的であると考えられるという現年度、
00:26:28	考えしかありません。
00:26:31	協議いたしました。ここ後ですね、機会として、そういうふうにそうですね読めてしまうということは理解いたしました。ちょっとここ、

00:26:42	悩みながら議論をこっち出してこういうふうな記載してしまったんですけども、
00:26:47	ここのですね現この考え方をここサマライズした書き方になっているので、いいような形でちょっと書けなかったので、減によるたまらんであるということ、こういう考えられるという記載をしてしまったと。
00:27:01	日本なんかちょっと今、おかしくなってしまう、事態がおかしくなってしまった原因だろうなと思うので、極的な感じ。
00:27:07	北西方を考えたり、
00:27:09	以上でございます。
00:27:11	はい。補足です。その上で、ここばらつきはもう、
00:27:15	やっていいんだっていうふうに書いてますけど、ばらつきはばらつきで感がてるんじゃないかなかったですでしたっけ。
00:27:25	重ねることでございます。衛藤設計上ではばらつきは考慮いたします。
00:27:33	大作です。
00:27:36	なので、
00:27:38	ばらつきをばらつきで考えるからここは平均でまずやるんだと。
00:27:43	というのが設計思想だと私は思ってたん。
00:27:45	ですよ。なので、何か限定してしゃべるっていうふうにはやってるからこうカスク見えるのであって、ちゃんと一通り並べてくださいというこちらの要求を相変わらず限定しちゃってるなっていうふうに思って
00:28:00	気がいたしましたそうですね違う、収まるやつだけで帰ってしまった。
00:28:07	本疑問なんで恒例を記載した時にマーケ競馬を考慮するんであったらしてデータとしてこのマル経てだとなってるやるとい、そこは我々の的な、
00:28:23	見解を付け加えることになりますけども、そうやって話としてはここがちょっとまとまりになると、いうことをおっしゃっていただいてるんだと思いますので、記載の適正化を考えたいと思います。以上でございます。
00:29:02	竹田さん進めてください。
00:29:05	はい。すいませんちょっと音がダブっています。
00:29:08	等でその他規制庁側から今週について確認はございますでしょうか。
00:29:16	よろしいでしょうか。

00:29:18	振り返りの方は、あと最後にまとめて行いますので次の資料の確認に進ませていただきます。
00:29:27	後で峯の方から、
00:29:30	江藤家の方から次の資料説明をお願いします。
00:29:34	はい。関西電力野元でございます。次の費用ですけれども、岩盤本の非線形性に係る検討についてということでこちらはですね、
00:29:50	記載の修正でございますけれども、
00:29:54	等、
00:29:57	最後ですね、右下 28 ページのところですね、それぞれの中央東西井のそれぞれについて、周期特性に、
00:30:11	顕著な管理がないということで、このえーっとですね剛性低下による影響小さいと判断する判断基準のところに係る記載をですね付け加えているのとそれからですね、
00:30:23	ここの所だけの記載といたしまして 3.456 させる形で、少しちょっと論旨をまとめたというところがこの資料の修正点でございます。以上でございます。
00:30:39	規制庁竹田です。ありがとうございます。それではこの資料について規制庁は確認等あればお願いします。
00:30:56	規制庁濱崎です。
00:30:58	ちょっとこの資料の入口のところのですね位置付けについて確認したけれども、3 ページのところに書いてあるんですが、
00:31:07	2 段目のパラグラフですかね
00:31:10	ひずみが大きくなって、岩盤部分によるにおける剛性低下あり。
00:31:18	着目してるんですけれども、
00:31:20	いわゆるひずみが大きくなることは、減衰 $h\gamma$ の特性も変わってきますよと。
00:31:26	ということについて、全くこれ、この資料では触れられてないんですけども、
00:31:32	あとの減衰の資料との繋がり、
00:31:37	とかですね、いわゆる岩盤の非線形性についてのひずみのあごめんなさい減衰への影響についてはどのように考え、まとめる予定でしょうか。
00:31:50	日塔。日本原燃の加瀬でございますすみません、まずぱっと答えれるところからなんです、濱崎さんも今のお話で、おそらくご認識されてい

	るかと思えますけれども、次の減衰定数 3 部分の減衰状況に係る検討についてところでは、
00:32:06	そういったところの非線形時の減衰定数の変動、そういったところに対しての考察というものを記載をしているところでございます。なんでそちらで扱っているという位置付けで今は会田の資料の方を作成しておりました。
00:32:19	はい。理事規制庁浜崎です。この資料は、
00:32:22	既存ヒモツケテから 1 例えば減衰の資料の方に 1 人、時間外については、記載しますというような文言は、
00:32:31	不要ですか。
00:32:34	日本原燃の大橋でございますすいません。
00:32:37	入ったような気もしたんですがすいません今ちょっと見たら書いてなかったようなので申し訳ございません。こちらきちんとですね、こちらに線形の資料の中で、表層表層じゃないと面積、自然経過時の減衰の扱いというところを、その後ろの資料、後の減衰の方の考察のほうで述べさせていただくというところをきちんとパスするようですね記載の方、
00:32:55	書かせていただきたいと思えます。はい。
00:32:58	はい規制庁浜崎です。非線形性として、 $G\gamma$ と $h\gamma$ 量を考えているということはきちんと分かるようにしてください。
00:33:07	あと細かい話この資料に関しては細かい話でなっちゃうんですが 28 ページ 2、
00:33:14	先ほど久野さんから説明があった今回の 5000 低下率の値が出てるんですけども、これ、地場 $G_0$ の最大値でいいですか。
00:33:25	最小値ではないんですか。
00:33:31	電力の方でございます。失礼いたしましたこれ着てる最小値でございます。失礼いたしました。
00:33:38	はい。規制庁浜崎です。多分、そちらの方がわかりやすいと思えますので修正してもらえればと思えます。
00:33:46	この資料に関しては以上でよろしい。
00:33:54	規制庁武田ですその他規制庁側からこの資料についての確認はございますでしょうか。
00:33:59	規制庁上手です。
00:34:03	前回話をしたときに、例えば、

00:34:06	24 ページの中で、わずかですけどスペクトルに差がありますね。
00:34:13	いうこと。
00:34:14	八木でそれが 20 ページだと。
00:34:19	前回だと、
00:34:21	スペクトルに概ね同等の結果って書いてあって、どういう視点で概ね同等って言うてるんですかみたいな話をしたんです。で、今回 20 ページを見
00:34:32	概ね等々って言う言葉が周期特性に顕著な解がない。
00:34:37	ていう言葉になって、言葉だけ変わったのかと思うと、一方で 28 ページの説明があるってことなんですけど、
00:34:47	28 ページが、先ほど言ったような、24 ページのスペクトルのその差分みたいな、どう、どう説明してるのかっていう繋がりが、
00:34:58	よくわからないんですけど説明
00:35:03	赤瀬電力の方でございます概ね同等が何を言っているのかというところを明確にすべしということであろうということ今回ですね期待といたしましては周期特性に顕著な鍵がないというか、
00:35:17	単に具体的に貸したわけですけども、要するにその周期特性として同等の曲線があると、いうことをいうことで事前決定によるですねスペクトルの定員のようなものが見られないと。
00:35:33	いうことをこの判断基準にしていると、いうことをちょっと名メーカー、明確にあらわすように、今回は修正したという意図でございます。以上でございます。
00:35:46	規制庁小峯です。もうちょっと解説して欲しいんですけど。
00:35:51	28 ページにおいて
00:35:54	解析結果の比較ありますけど、どの数字を音を見て、その加速度応答スペクトルの影響に関して、影響が少ないと。
00:36:04	思っているのかももうちょっと解説してもらえますか。
00:36:09	はい。日本原燃の加瀬でございます。今のお話につきまして回答させていただきますと、先ほど野元さんからお話いただいたところの補足もあってですけども、今回地場 G0 が変わるということは地盤の固さないしそういったものが変わるというところに、
00:36:25	そうすると、どういった影響が入力地震動の算定に影響があり得るかというふうになりますと、やっぱり地盤の硬さが非線形化によって変わる

	ことによる地盤の固有振動数の変動みたいなところが変わってくるというふうを考えられます。
00:36:40	それで実際その結果を見てみるとというのが応答スペクトルいっぱい並べている
00:36:45	20 何ページとかにあるところなんですけれども、それらを見ていきますとピークの山とかはやっぱり変わらないということは地盤が多少一部でやわらかくなったりして、その地盤の固有振動数みたいなのところもある程度変動が起きかねないような状況になっていても、それが応答スペクトルに表れるほどの変動ではなかったというような考えになっているところが、
00:37:04	各ページ、各ところ書いている周期特性に顕著な影響乖離がないというところを書いているところがございます。一方で 28 ページで言いたかったところと見ますのは、それが具体的に戸村井野磁場 G0 になっていて、その時にひずみがどれぐらい出ているか。
00:37:20	そういうふうな観点で着目したときに 28 ページにあります表ですね、その中で、ごく一番例えば 24 とかそういったところとか、あとは場所によっては中央東についても多少の違いがあると。磁場事例は、多少の違いがある。
00:37:34	という中で、それらの市地場 G0 の違いなんかを相対的に比べてみても、いずれの地盤においてもその周期特性に顕著な乖離が出るほどではなかったというところを、ちゃんとパーツパーツで見比べてみましょうとそういうような意味でこの考察を付け加えたものでござい
00:37:49	以上です。
00:37:54	同規制庁間レースを長谷さんの説明がもうすでに通ってなくて、
00:38:00	へえ。
00:38:01	まず確認すると、20 ページ、24 ページ。
00:38:08	もしくは 25 ページなんか、
00:38:11	の加速度応答スペクトルの図を見ると、私なんかは多少の差分があって、何らか説明が必要じゃないかなと思ってましたけど、大橋さんはこれは同じものだと。
00:38:23	見えてる。まず、まずそれだけですっていうことですね。
00:38:31	はい。言い方で力の方でございますすいません野村。



00:38:35	回答で申し訳ありません。今の事に対しては端的に申し上げると Yes なんですけれども、このスペクトルがですね
00:38:46	行法こういった表ですねちょっと出込み込みがあるにせよですね周期方向に動いていないと、いうことが大越先生のは、
00:38:57	においては、有効なんであろうという考えで今言ったような見解を述べさせていただいたということでございます。以上でございます。
00:39:05	はい。規制庁上出です。それは 20 ページに書いてある、周期特性に顕著な解がないっていうこと。
00:39:14	私はつながらないんですけど、
00:39:16	当たり前でしょって感じで説明されてます。大きさが変わらなくて周期特定シフトしているから云々かんぬんで、これは差がないんだって言葉を、
00:39:28	今の文章で読めるんですけど。
00:39:32	電力の方でございますあんたしか周期統制現況の赤い日がないの一言で済ますだけでは、今ルールですね、私が一生懸命口でしゃべったことが、
00:39:43	あれ分けてるかという、ちょっとそこが読み取れないというのも確かでございますで、どれを見てどういうふうに判断したかというのがちょっと読み取れないというのも、
00:39:53	今のやりとりですね患者さんが間野を入れの周りだということも、少しわかるところでございます。
00:40:02	ここは、丁寧に呼び出す、チャートとそれからそれをもって、どういうふうに考えたかというのが、ちょっと書き下すようなトライを、を考えてみたいと思います。
00:40:17	以上でございます。
00:40:19	規制庁
00:40:24	なぜ同じと見えるのか、どうという、頭の中をもう少し解説して欲しいということで、
00:40:31	それで、
00:40:33	今の説明
00:40:35	もし考えなきゃっていうことらしいんですけどそれと 28 ページの説明がもっとよくわからない。
00:40:42	もう、

00:40:43	なぜ 28 ページの説明が出て、
00:40:47	もうまたこんがらがって、
00:40:50	説明できますか。
00:41:00	結局こっちか。
00:41:02	関西電力の茂木でございます。ここはですね、
00:41:08	京都東西それぞれで、
00:41:10	網でお示ししていたところですけども、これを見たときに、東側の帰りが若干大きくなっているようにも、
00:41:19	すいませんひずみとして、見えるというところで等ですねこのさらにどう考えるのか考察をということで、今回、前回のコメントいただいたこと、
00:41:32	踏まえて、と記載を追加したというところでございます。経緯としてはそういったことで、
00:41:41	規制庁から、
00:41:43	です。
00:41:45	今日の話聞いた 20、20 ページに周期特性に顕著な解がないって書いてあったことの、
00:41:53	展開ではなく、別のところの説明ってことなんですけどちょっと具体的に何ページのこういう部分を補足するものなんですっていうことをちょっと説明してもらえれば、
00:42:07	いっぱい日本原燃の大庭清でございますこちらの 28 ページの記載をました。1 といたしましてはもっと、何を補足するためにここを書いたかといいますと例えば 20 ページなんかでございますけれども、
00:42:19	ひずみの値と剛性低下率の値を箇条書きポツポツと、岩種ごとに選んで結果を記載しているところでございます。一方で中央地盤なんかの結果におきましても同様に、
00:42:31	当間すいません例えば、13 ページのところにつつポチポツ、
00:42:36	ところでございます。前回いただいたご指摘の際にですね、こういったところの剛性低下率の値ただ並べるだけではなくて、最初のところはどうして例えば大きいところがあるのかとかっていうところを地下構造の
00:42:48	地下構造の特徴との関係を踏まえて考察すべしというご指摘をいただきましたので、今申し上げました数字を羅列しているというだけではなくて、それに対して、我々の敷地内の各部分の地下構造

00:43:00	をして、こういう状態になっているからここはひずみがちょっとおっし ゃったのかなとかそういうようなところの考察をするために、今回 28 ページの記載を追加いたしました。以上です。
00:43:11	木曾。
00:43:14	東京としてはあれですかね、この前私が話をしたその概ね同等で、何を 根拠に見てるんですかっていうことについて、回り回って 28 ページが あるのかなと思う。
00:43:26	うんですけど。
00:43:27	今の説明からはそうではなくて、28 ページっていうのは、示した GG0 の値の他の解説を解説というか、考察をしているんだっけ。
00:43:39	いうことであって、応答スペクトルを概ね等々って何ですかって言った のは顕著な会議がないっていう言葉に置き換えただけですって、もうそ れだけですか。
00:43:52	関西電力の方でございます。はい。5 日の通りでございます。
00:43:58	はい。規制庁、
00:44:01	ということであれば話が、ようやく元に戻ったんですけど、なぜそう思 ったのか、データ飛んだかっていうことです。
00:44:08	してください。以上です。
00:44:15	はい。出されるのでございます。
00:44:16	しました。
00:44:22	規制庁竹田ですその過去の資料について確認等ございますでしょうか。
00:44:30	よろしいでしょうか。
00:44:32	それでは日本原燃の方から次の資料の説明の方をお願いいたします。
00:44:38	はい、関西電力の郷でございます。次はですね、岩盤部の減衰定数に係 る検討についての資料でございます。こちらはですね前回にヒアリング でご確認いただいたデータからですね、
00:44:51	前回中央だけのデータでしたけども西と東のデータを多区画で提出させ ていただいているものでございます。
00:44:59	その他、修正点といたしましては 2.8 として 1 時っていうのは切りのと ころでですね、表層についての減衰定数についての考え方を追記してい ると。
00:45:12	というのがこっちの部分。
00:45:15	来てるかって、その他ですね、

00:45:23	右田 11 ページでございますけれども、既認可の設定がですね逆に基づきどうであったのかと、いうことの整理をということで、ここのですね機会を充実させて、
00:45:33	ところでございます。
00:45:35	それから右田、13 ページでございますけれども、こちらではですね本社において実施する結果として、誰ですとサンゲツ両方が含まれた評価を実施する他、
00:45:47	両国の趣旨を明確にした上で、その既認可着点において、その気つきがないことから現地で受けられる最新のデータを
00:45:57	引地において実施するという今回の
00:46:00	公費について、振り替えに記載する。
00:46:04	ということで、修正しているところでございます。
00:46:07	それから、右下の 38 ページでございますけれども、こちらはですね、を含めて、
00:46:19	今言った時間にですね一つパラメのところは、人による首都圏 3 が妥当であることを記載をということでこれ追記させていただいてるところと、それからツバメのですね後半だと、
00:46:31	ところはですね連続観測について、今出ている低下に用いられたに基づきまして、これがどのように解釈するかと。
00:46:42	みたいなどころの追記もさっきいただいているところでございます。全体にですねそういう形で記載をちょっと充実させていただいているところでございまして、簡単なご説明は以上でございます。
00:46:58	規制庁竹田ですありがとうございます。この資料につきまして規制庁側から確認等あればお願いいたします。
00:47:08	赤瀬野元でございます。失礼いたしましたそれですね、これ、ここまでのやりとりですね月につきましては、観測。
00:47:17	観測点による検討されたら S 波検査による検討それぞれですね、今後ちょっと技術して継続して考えて参り、
00:47:26	よう立ち至っておりますので、それに基づきましてちょっと記載をですね以前は、家族記録をメインに据えて、それに基づくんだというような祭りの記載になっていたところを修正していると。
00:47:41	野中コーディネーターの趣旨でのちょっと変更点でございます。すいません。説明も失礼いたしました。以上でございます。

00:47:50	規制庁、竹田ですありがとうございます。オペラ規制庁側から確認等あればお願いします。
00:48:00	今の西郷浜本さんのご説明、
00:48:05	その確認。
00:48:06	もう
00:48:10	に基づく方法っていうのをこの資料の中でも、もっていて3種類の手法がありますよ。
00:48:19	そのうちの一つとして3軸圧縮試験により町からっていうのもありますよという説明はされて
00:48:27	御説明だと、以前は簡素食う記録による同定っていうのを第1に置いてたけども、それは、
00:48:36	取りかえて、3軸だとか、そういったものも含めてもう1回ロジックを見直しますよというご説明にも聞こえたんですがそういう趣旨と理解して大丈夫ですか。
00:48:49	はい、人事部の方でございます。
00:48:55	だけですな、3ヶ月だけ両方見るような
00:48:59	やり方を主軸にちょっとやりたいと言ったような
00:49:04	記載は、若干残ってるようなところでございまして、
00:49:11	これは、
00:49:14	成長の不振です。サンランと材料減衰両方しにくいという
00:49:19	所で、材料減衰のみを
00:49:22	示すと思われる3軸圧縮試験も生きているということなのか。
00:49:29	今日提出の
00:49:31	資料を見ますとですね、14ページ
00:49:36	各種の材料減衰、ごめんなさい、減衰定数を縦軸にとったグラフがあって、
00:49:43	その中で2%ぐらいのところにですね、材料減衰の運用、
00:49:53	頭に括弧3行ってつけたまま載せてるんですけど、
00:49:56	これ見ると、やっぱりこの、
00:49:58	室内3軸試験の結果っていうのは、
00:50:01	所詮参考でしかないのかなとも読めるんですけど、そのあたり、どういう扱いに、
00:50:06	とらえて、

00:50:07	いいですか。
00:50:13	中にそうですね我々の意図していたのは、ご参考として横に置いやるつもりは、
00:50:20	野辺、すみません、少しあの会合資料の方の、
00:50:24	方が落としてるように読め
00:50:27	ます。
00:50:27	江島。
00:50:29	今見ながらこちらでちょっと、
00:50:32	こちらの
00:50:33	足で作っていたところ
00:50:36	もしここからですね、修正の
00:50:40	近いお時間があるようであれば、極力給水述べたいというふうに思います。以上でございます。
00:50:49	はい。趣旨は確認できましたので、
00:50:52	参考深津つもりはなかった。
00:50:55	いうことで、
00:50:57	修正、
00:51:05	はい、承知いたしました。
00:51:09	私からこの後、
00:51:17	その他規制庁側の確認等ございますでしょうか。はい規制庁濱崎です。ちょっと資料の中について確認したいんですけども、
00:51:26	46 ページからですね
00:51:30	同定された減衰定数による分、シミュレーション結果という、須賀入力等のスペクトルの比較ですね。
00:51:38	46 ページは今まで従前説明があった中央地盤で、左のやつはよく合ってますけど右側の EW が、1 秒ぐらいのところに山があって短周期や、
00:51:51	かなり違ってますよねこれ 6 軸でこんだけじゃ。
00:51:54	今回、提出があった西側が次のページ、さらに 48 ページいくと東側と見る限りでは、
00:52:05	NSEW ルート、
00:52:07	こちらにも 1 秒ぐらいにちょっとこう角みたいのあるんですけど、概ね全周期域、そんなに乖離がないなということで、

00:52:17	中央の日、伊奈飯田玲子はですね、県庁の違いがあるという特徴があると思ってます。
00:52:26	それに対して分析をされててですね、40 じゃなくて 53 ページのところですね。
00:52:34	ええ。
00:52:36	と考察されてます。①と②の話があってですね①はさっきの 1 秒のシミュレーションを引くなど、
00:52:46	そうですね、それについてのお話で、
00:52:48	②が、中央における EW の短周期の話ですね。
00:52:53	それが書かれてまして、その理由は次の
00:52:58	54 ページに書いてありますけども、
00:53:02	この 54 ページ。
00:53:04	中央の EW が大きくなる理由が、この文章って過去の内容でちょっと理解できないんで、もう少しわかりやすくこれ説明してもらっていいですか。
00:53:15	はい。日本原燃の加瀬でございます。こちらの 54 ページのところですが、すいませんちょっと私も今読んでたり前があってちょっと自分で入って思いました。言いたかったことはですねこれ青線がマイナス 200 メートルのところ、地震計の最深部のところでられた記録、
00:53:32	でして、つまりこれって今回やってるシミュレーションの一番下のインプットだというふうに思っただけだと思います。はい。このインプットの条件青線をして、これ判例もすいません左側が NS で右側が EW ということを書いていないというところでできが悪いんですが、
00:53:48	今は示していると、左側の NS 成分のところにつきましては 1 秒のところまで谷になってマイナス。
00:53:56	一方で、2W の方につきましては右側の図なんですけどその 1 秒近辺のところ、山名医師もしくは麻生平間というか、N-S ほど谷なんていうことではないというような状況が見受けられます。
00:54:07	これらのことを見比べますと、もうこれは -200 の応答がそうだという事は、もうこれは言ってきた波の特徴といたしまして、この 311 地震というものが東川から来た地震だっていうところもあったと思うんですけども、そういった一定の指向性のある地震はだったんじゃないか

00:54:23	ところを考えています。そういった意味でこの1秒のところのインプットがあるかないかというところで、伝達関数上1秒のところはかなり過大に評価されているというところが、響くかどうかというところが、大分このスペクトルの形状として現れたというふうなことだと思っております。
00:54:40	ちょっとすみませんわかりにくいのできちんと図の適正化もそうですし、あとは例えばそうですねインプットの波のちょっとフーリエスペクトルを見てみるとか、ちょっとそういうようなところもきちんと、ちゃんと書いた上じゃないと説明にならないな。すいません。
00:54:52	ありましたんでその辺はちょっとすいません、充実させていただきたいと思えます。以上です。
00:54:58	はい規制庁浜崎です今の大橋さんの説明は、中央だと、中央ってか中央以外も、寿命保険に峠が出てくるのは、多分、
00:55:09	西東に関しても、マイナス200メートルのところには、こういう谷があるから、1秒付近がその反動っていいですか。
00:55:19	地方っていいですか上部では増幅されるということで、
00:55:23	要は1秒の小津野みたいな説明にはいいんですけども、ある程度ご説明あると思うんですけども、
00:55:32	中央のEW直、
00:55:34	短周期が全体解析に大きくなってるとはいいじゃないですか、
00:55:40	その理由。
00:55:42	とはちょっと違うように、ちょっと違うといいますか直接違う、対応してないように思うんですけども、
00:55:51	いかがですか。はい。日本原燃の長谷でございませう確かにそこもちょっと書くべきだったと思えます。今は言ってることと趣旨といたしましては、こちらの1秒のところのEW成分では、
00:56:03	ITNS成分ではその1秒のピークがそもそも
00:56:07	地震動の成分上少なかったであろうというところが佐田というのは、1秒のところではそうだというふうに思っております。ただ一方で、この応答スペクトル上差が出るということにつきましても、この辺の1秒のところが大きく評価されますと、
00:56:19	結局藤スペクトルで最大振幅で書くところとございませうので1秒の周期がいたというところで振幅が上がりますと、ごく短周期のところの成分



	まで応答スペクトルが大きくなるというふうなところはよくある話でございまして、そこにつきましてもやっぱりその伝達関数の
00:56:35	倍率、増幅率とそのままも持ってる波のピークがどれぐらいぴったりかみ合うか、そこがどれだけ大きく評価されるかというところによるかと思っておりますので、ちょっとそこの考察もきちんと書くべきだなと今のお話を踏まえてちょっと
00:56:47	でございます。先ほど申し上げました拡充の中でそこにちょもちょっと踏まえて、下のほうは充実させていただきます。以上です。
00:56:56	はい規制庁和崎です資料の方、見さしてもらってまた確認したいと思っております。
00:57:02	以上です。
00:57:12	規制庁竹田です。その他、この資料につきまして確認等はございますでしょうか。
00:57:20	よろしいでしょうか。
00:57:21	証明でワーキング原因の方から次の資料の説明の方をお願いします。
00:57:27	はい。関西電力。
00:57:30	ございます。
00:57:31	表層地盤の物性値の検討についてのご説明でございます
00:57:35	この資料につきましては前回のですねヒアリングで冒頭に他いただいたバージョンからって流動化処理の機会を追加するとともに、その介護用資料でいただいておりますコメントを踏まえて介護手術の整合も図る形って、
00:57:52	修正してきたものでございます。
00:57:54	で、まず、だっこを変更箇所についてご説明申し上げますと、右下4ページのところで戻し等の無線かかる管理状況の記載について、
00:58:06	少し整理して、詳しくちょっと記載を充実したと。
00:58:12	いうところでございます、ここは介護資料に入る情報との整合も取りつつ、置き換えてるところでございます。
00:58:20	それから右下5ページの図面ですねクリアキャプションの上のところ注がついておりますけれども、建物構築物と重なるボーリング孔について、これが
00:58:32	どういうふうな
00:58:34	ことの説明をということ

00:58:37	それから組み替えておりましたので、これがされているものは設置前にボーリング調査を実施しているものであると、いうことの記載を追記しているところでございますし、それからですね日、
00:58:49	右下の 10 ページ目、ちょっとこれメモとしての機種選定
00:58:53	を介護資料の中に入れてねピース添付して分娩元にどういうふうにし、判断したのかということに記載しているということも含めてそこの整合をちょっと
00:59:06	ある形で、こういう修正している。
00:59:09	未算入 3 ページ目のところのですね施行年度で友利製品から求められる G0 本会議につきましては、これの介護資料では、赤丸と青丸のですねこの二つのグラフはまとめた形で記載してるかと思えますけど、
00:59:26	これですねこちらの補足説明資料につきましても、まとめる形でお話したいというふうに考えてございます。今もうすでにですね修正したものがございます。
00:59:38	これちょっと追って出させていただくことを考えてございます。
00:59:42	で、それから、
00:59:45	右側の 26 ページ目でございます。で、このところでの流動が、
00:59:52	この範囲の図でございますけれども、ちょっと補足説明資料の中でですね流動化処理と AB で特に B の方ですね、これを追記してということで、衛藤大木にもヒアリングで承っていると。
01:00:06	いうところでございます。これもですねこれ、もう少し修正する形で入れさせていただこうと思っております。
01:00:12	ただですねこのいろいろな書類の B につきましては、この地盤モデルの設定には直接関わってはいけませんので、パワーポイントの方は、この流動化処理場の伺っては、
01:00:25	もう、もうここの維持をしていないバージョンで、お出しすることを考えております。ここで B の位置付けについて補足説明資料で、少し追記させて、
01:00:35	というような間形で考えてございます。
01:00:39	それから、
01:00:41	あと追加の取っぼろといった、
01:00:44	池衛藤参考 3 から後のメルカリの施行に関する飯塚についてこれは追加させていただいているところございまして、あと参考 5 のところ、表

	層地盤物性値与え方による影響について、これは感度分析におきます表層の
01:01:00	ねそういうことが生じているものに対する分析、これも今後資料でも示してるところでございますけれども、補足説明印はここにさせていただきます、
01:01:11	いうところでございます。ご説明以上でございます。
01:01:17	規制庁武田です。ありがとうございます。
01:01:20	それではこの資料について規制庁から確認あればお願いいたします。
01:01:33	内野です。別途ちょっと幾つか、
01:01:36	まず1ページ目のはじめにの文章なんですけれども、
01:01:40	ちょっと2パラグラフ目から4パラグラフ目のちょっと説明の流れがよくわからなくてですね、趣旨を確認しております。まず1パラグラフ目はですね。
01:01:50	建築学近傍よりられたた。
01:01:56	求めて設定す。
01:01:58	と言っていて、
01:02:00	その次のパラグラフで、でも当該地点では広範囲の掘削、もしやっ
01:02:06	て、
01:02:06	十分な品質管理、施工はし実施してるので、このことから、一般的な、
01:02:13	考えに基づく整理にあたっては、これこれにも着目してということで、ちょっと一般的な、
01:02:20	考え方に少し異質なものを負けさせてきたような、ゆんですね。次のパラグラフで、表層地盤人工材料で一定のお金のもとで均質に施工されれば、
01:02:33	こういうふうな分析を設定できるということで、ここで多分明確には書いてないけど、単に一般的な考え方とは違う方法を、ここでは取りますよってというような
01:02:44	説明に売るんですけれども、
01:02:46	特にいっぱいあるから3+3%での内容って、現在の敷地、或いは施工状況の特徴を述べているところかと思うんですが、
01:02:57	一般的にはここで、原燃で言ってるような、たくさんの建物が同時に構築する必要があるんで非常に広範囲に掘削して、また何年かにも終わったりながらも同じような材で埋め戻す。

01:03:10	といった特徴っていうのは、一般的な工事ではちょっと考えにくいものなんかは、減免の特徴、ちょっと一般的なものっていうのを適用しがたいっていうところが多分、
01:03:24	最初に来ちゃってるんですけど、そこら辺のその一般的な現場状況とか、その違っていうのをですね、もう少し明確に説明をしていただければと思うんですが説明できますでしょうか。
01:03:37	はい。関西電力の方でございます。冷やすというところは全然我々もちろん
01:03:46	今の金もありますので基づき設計すると、これが
01:03:51	メーカーにいえる一般的な考え方というところから出発してごさい。
01:03:56	その大規模に掘削してみますというやり方が普通の一般的に今、
01:04:03	ないというのが、
01:04:05	事実関係ではございます。
01:04:10	ねえ、三つほど。
01:04:18	伊佐。
01:04:22	現場は、
01:04:24	この
01:04:26	考え
01:04:30	であろうという。雪で、
01:04:34	ですので、この1、
01:04:42	休止してもらいます。以上でござい。
01:04:54	ベース。
01:05:00	そういう御説明を行って、
01:05:03	説明の趣旨としてはですね。
01:05:06	僕の方がいいのかなと思います。
01:05:08	2から4パラ目の見解という一般的なことを受けながら、原燃は、
01:05:14	塀なんか独自のものを導入しつつでも一般的な見張ってるように、
01:05:20	どういうスタンスで行った。
01:05:23	わからないなと思ったので、これ。
01:05:26	わからない。
01:05:28	そういう形にされるんですね、保険と
01:05:32	思います。

01:05:34	他の説明云々ではなくてですね今後の記載の適正化という意味で、ご検討されたらどうかと思いますけれども、趣旨が、
01:05:42	まずでしょう。
01:05:45	はい、葛西下野でございます。
01:05:49	読み上げさせていただくのが、この後、
01:05:52	でも関田。
01:05:55	すいません石津に来たところの
01:05:59	いただこうと思います。以上でございます
01:06:02	規制庁の内田です。はい。
01:06:04	続いてですね、4ページの説明に、
01:06:11	防止の4ページですなんかペーパー抜けてますけど、の説明。
01:06:19	うん。
01:06:20	破線でいろいろと追記はされていますけれども、1%見せた3パラ目と ころの、
01:06:27	派遣通気されてないっていうのは、
01:06:30	おそらくこういった工事がどう、僕は当たり前のことを、
01:06:35	前にやられていることを、
01:06:39	うん。
01:06:40	で、前回までのヒアリングもですね、事業者が禁止つき
01:06:45	ていることに対して具体。
01:06:48	へえ。
01:06:50	日です。
01:06:55	質問、質問。
01:06:58	言葉が出されて、少し詳しく。
01:07:00	できるので、
01:07:02	例えば、まずストックパイルによっては云々という
01:07:07	粒度調整される。
01:07:10	で、どういう調整の方法をとって、
01:07:13	粒度買いだっていろんな階級に応じてくる。1人としてそれを団体に、
01:07:18	金布施とか、そういったことをやる
01:07:23	そういった具体的なやり方も見えない。
01:07:26	ですし、試験施工
01:07:32	実際何センチ楕です。何層一層段階だと。

01:07:35	そういったことも加工、
01:07:38	そのやり方。
01:07:40	うん。そういった品質が、
01:07:44	材料技術が主な技術が、
01:07:47	選べるよう配慮して行った結果、
01:07:50	例えば材料は、
01:07:53	どれぐらい均質になって、
01:07:55	仕上がり品質はどれぐらいのばらつきになったのかっていう具体的なデータでもって、説明を
01:08:03	してくださいというようなことを求めてきたかと思うんですけども、
01:08:08	今回は、
01:08:09	データの整備充実について
01:08:11	で、今後やる予定なのかそれともこの文章の説明だけで十分でしょうかと 考えているのか、こちらが、
01:08:29	関西電力野元でございます。今、
01:08:34	では、大前おっしゃる通りですね施工については、基準をできるだけエ リアに基づいてということで今回ですね品質管理要領とそれから月間記 録というのを、
01:08:47	3行政機構に付けさせていただいてるんですけども、これ、
01:08:55	基準について具体的にこの紙だと言ったところは今の記載はしていない ところでござい。
01:09:01	で、大事なのはその結果として均質。
01:09:08	として、施工できてるかどうか
01:09:11	いうところになるんですけど
01:09:15	右下の7ページの
01:09:19	それから、そのあとのですね、
01:09:21	人生の
01:09:22	設計、すいません、仕事の
01:09:27	データの踏まえて、禁止の方だろうと。
01:09:37	いうところ、これご説明することで、記載して、
01:09:41	それすごい動き、
01:09:44	ではですね施行の時に瀬古
01:09:47	浦邊野地さんにその施工のネタによって、河瀬栄

01:09:52	分析を、あと部署におっしゃっているので、
01:09:56	すげえ。
01:09:58	NORTH 以上。
01:10:01	構成で読んでいただくには、まず、
01:10:07	遠ざけものでございます。
01:10:11	ものでございます。
01:10:15	おっしゃってるのは、品質管理が、
01:10:19	的なものが記載されてないというふうなことだったと思うんですがその ようなことではございますが、究極です。品質管理の方、
01:10:31	どうだったのか。
01:10:35	上手く、
01:10:38	II、
01:10:40	衛藤事件でございますが、一連につきましてはですね三島の方に示さ せていただいているんですが、何しろ
01:10:48	ぜぜ、1999 年以前の方がですね、なかなか昔にやったデータでございま して、全数というのをですね今ちょっと我々の方で
01:10:57	見て、いうところではございまして、それを全部まとめて、
01:11:03	事をですねやるとするとですね、もう少しちょっとお時間をいただきたい なというふうに思ってます。
01:11:09	以上です。
01:11:14	何か出てこないかもしれない。はい。
01:11:21	前の方でございます。
01:11:24	ちょっと今日まで言って申し上げさせて、
01:11:27	こちらというところだと
01:11:29	20 ページのです。
01:11:32	6 名。
01:11:33	つまり知覧じゃないかと。
01:11:35	いう風に思っています、ですんで確認できたら、
01:11:41	これにおつけしつつですね、
01:11:44	疾病の合成値が 0.8 メーターというところで関係者
01:11:49	そういう、
01:11:50	さっきなのかなというふうには、
01:11:52	思ってる。

01:11:53	ございます。以上でございます。
01:11:55	通常、
01:12:04	では、
01:12:06	今回つけて、
01:12:10	6 ページを見ますと、
01:12:12	年度ごとの施工管理、いろいろ品質管理の違いが載せられて、
01:12:19	例えば現場間容器って上から三つ目のところにある品質管理という、
01:12:24	見ますと、
01:12:26	99 年以前を最大間村長最適岩相の間、
01:12:30	2000 年以降、
01:12:32	作業所管理最大限
01:12:34	フォローアップ、粒度の管理を行っている。
01:12:37	99 年以前だと、
01:12:40	おそらく材料の
01:12:42	裕度分。
01:12:44	違うものに、
01:12:46	なってくるということはこの、
01:12:50	で、あと下から二つ目の低圧の要綱の品質管理も、
01:12:55	今般、
01:12:57	寺嶋。
01:13:00	方法自体が違っていいんで、当然支払率の差が出てくるんだろうと考えるのか。
01:13:05	これだけを見ると、
01:13:08	そうです。方向が違うと思う。同じようなばらつきの中にはい。
01:13:14	年度施行時期の違いによる違いは、結果的にありませんということが説明できるのであればと思い、結果のデータもといったことなんですけれども、
01:13:25	今言われてったら、後ろの方に、
01:13:30	7 ページの、
01:13:33	11、
01:13:36	これについて、今言った説明ができるかというと、
01:13:42	これは、
01:13:43	最後に集約した結果であって、



01:13:46	事業者は、繰り返し強調している品質であると。
01:13:50	エビデンスとかけ離れたものになっているかと思います。この図を見てちょっとピースであるとも思えない。
01:13:58	なのでですね、ちょっとたはあるのかという、もちろん不安はどうかと思いますけれども、
01:14:06	やはり、
01:14:07	方法で、材料を調整し、
01:14:11	締め方の意見が、
01:14:13	うん。できるだけ金化を図る努力をどのようにしてきたのか。
01:14:18	かつ、結果的に限定データを限定されるかもしれないけれど、
01:14:23	これぐらいの範囲に収まっていたってような、
01:14:27	説明は、
01:14:29	ないとですね、やっぱり、
01:14:37	まず、その要件については、
01:14:40	来期っていうの、耐震地盤、よろしいでしょうか。
01:14:43	8日のところで埋め戻しの流路試験データ。
01:14:47	うん。
01:14:48	ここのところの説明フローだと思いますので、まだ詰めようがあるのではないかなと思います。そういった形でちょっと、
01:14:58	は、
01:14:59	検討なさっている。
01:15:06	でございます。はい。ありがとうございます。
01:15:11	今
01:15:16	宗南という
01:15:20	だけ
01:15:23	なんじゃない。
01:15:25	いえ、
01:15:28	それから、データですねをどこで検索して、トピックを考慮して、
01:15:34	ございます。
01:15:36	宗さん、決得、こちら、
01:15:40	別の質問です。はい。ご検討されるという
01:15:45	形ですね。

01:15:47	4 ページの下が一番下のパラグラフに説明がある内容が、6 ページの目標の、
01:15:56	下の※2 というところで、少し様子を挙げて何か説明されている内容と対応して、
01:16:04	うん。
01:16:05	これは、
01:16:08	うん。
01:16:09	何を説明されようとして、
01:16:16	どういう目的で何を証明したい。
01:16:19	或いは検証したいのでこういう説明を、なんか教えます。
01:16:30	当然設計のものでございます。これは先ほど岸野さんがおっしゃられたように是正 99199 年以前はですね、多分、
01:16:40	本というですね、
01:16:41	強度共同強度評価。
01:16:44	で、2000 年以降につき、
01:16:49	はい。
01:16:59	確認したところですね、大体金 1990 年以降のですね訪問管理試験の結果、相当だと、どのぐらいの
01:17:10	締固め度になるのかっていうことをですね計算してちょっとここに書かせていただいたと。
01:17:17	こちらの方、
01:17:19	ですね 1990 年以降と、2000 年以降ではですね、締固め度につきましてはですね、ほぼ同等の管理をしてるというふうなことをですね、1 度たいがためにですね、この※2 の方をですねさせていただいて、
01:17:33	いうふうなこと。
01:17:41	急ぎ手当の西方、
01:17:44	それが管理基準。
01:17:46	どうしているかというふうに、
01:17:48	うん。
01:17:49	データがあればですけども、
01:17:52	このデータで説明した方が良い。
01:17:54	密ではないかなと。
01:17:59	この管理基準、本館いう抵抗牛、

01:18:05	実測の QC、
01:18:07	根幹いうて、
01:18:10	9%0.2 掛け厳しいと。
01:18:13	そういう関係式がある。
01:18:18	日本は多分ね制度。
01:18:22	それをさらに込みのところで、
01:18:25	調査方法からに関して、
01:18:29	それをさらに道路供試ホースでファイルに換算して、
01:18:33	さらにその次のページ、これ、私この関係者見たことない締固め。
01:18:40	非常になんだ。
01:18:42	大橋のやり方にあって、どれぐらいの信頼性がですね。
01:18:46	疑問なんですから、
01:18:48	どういう。
01:18:49	実測データを示した方が良い。
01:18:52	なんていうことについては、
01:18:57	当然設計の方でございます。今、石野さんがおっしゃられたようにですね、あまり説得力がないような気もいたします。実測データをですねちょっと、
01:19:09	先ほど野本が言いましたようにですね、少し集めて検討をさせていただきたいと思います。
01:19:28	あと、すいません、もう 1 点。
01:19:32	ふうん。
01:19:33	都築されたの 11 ページの図に至るまで、
01:19:39	うん。
01:19:41	うん。
01:19:43	8 ページにその説明が、
01:19:46	思います。
01:19:49	まず 2 パラグラフ目ですね、次のページの、
01:19:53	第 2 ポツ 1 ポツ 2-1 図という
01:19:57	もうちょっとヒアリングで確認したことの再確認。
01:20:04	この 9 ページには、
01:20:06	図の、
01:20:08	右側、G のグラフは、

01:20:12	ディーゼルをこれは 3 軸試験に基づく実測値ではなくて、PS 検層の Vs、
01:20:18	実測値と、左側の OP の実測値と、
01:20:22	もう計算で求めた G0 であるという理解で、
01:20:30	面積のものです。その通りでございます。
01:20:36	僕はちゃんと、
01:20:41	うん。
01:20:44	で、
01:20:45	行ってですね、
01:20:47	10 ページ。
01:20:48	10 ページの、
01:20:50	へえ。
01:21:01	11 ページも、今回ですね、先ほどの図の年度ごとに分けたものという。
01:21:07	で、
01:21:08	ところは先ほどの御説明が、
01:21:11	15 ページには、今度は PS 検層の BS マシンの部分があるんですけども、
01:21:17	その中に、3%Vs っていう、書いてあるんですね。
01:21:22	うん。
01:21:23	等で、先ほどの
01:21:25	説明は、
01:21:28	説明が十分に 10 ページにありますけれども、
01:21:32	真ん中ぐらいにですね。
01:21:34	図中には深度 1 メートル区間ごとの Vs (2) 参加 Vs9、
01:21:39	の平均値を丸印で示しているというふうにありますので、
01:21:45	図の中の凡例として、この丸印おり参加 Vs、
01:21:51	その後、
01:21:56	まず、これは
01:22:05	実際に参加 Vs の併記
01:22:16	うん。
01:22:17	うん。
01:22:18	うん。

01:22:19	この辺りも、
01:22:21	うん。
01:22:22	どこに行って、
01:22:24	うん。
01:22:41	比較をしている。
01:22:47	うん。
01:22:48	それ以上で、まず青丸を
01:22:52	99 年以前、
01:22:55	参加 Vs、
01:22:57	ん。
01:23:02	D の、
01:23:07	人事、
01:23:11	確信度で出られた。
01:23:13	計算も大きいですね。
01:23:15	それを使って G0 を計算で求めたのが、④赤丸で、
01:23:21	その近似式を青線とか赤の直線で示しています。
01:23:28	それと、
01:23:29	黒い実線は 1000、これは 99 年以前、2000 年以降分けないで、トータルで、
01:23:37	は、
01:23:38	D0。
01:23:40	もう、
01:23:41	両方を比較して行って、
01:23:44	大体同じだね。
01:23:47	ということを説明しようとしている通り、
01:23:57	見ていただければというふう
01:23:59	にして、水流専門でござい
01:24:06	13 ページ。
01:24:12	色つきの
01:24:13	路線と、
01:24:14	室井。
01:24:19	どちらも出処となる。
01:24:22	Vs は同じ。

01:24:25	だから、1メーターでなんか平均とって2、3回
01:24:34	多分、
01:24:35	同系も馴染む。
01:24:38	なんだけど、それを、
01:24:40	毛利さんに参加という限られたデータで計算しているのか、それとも近似式でもう連続性のデータを載せられたものを使っているかといった違いわかれども、
01:24:51	本ペルーVSとかローチってのが、
01:24:55	同じものを出して取得してる。
01:24:58	るんですね、後年度違い。
01:25:01	という理解。
01:25:06	この関野でございます。
01:25:08	岸野さんがおっしゃる通りでもととの先ほどもですね
01:25:16	図の2-1の図の2-1-2-1図に書いてございますものにはですね、もともとデータセットVsと対になる $\rho T$ で、
01:25:27	計算するというのがですね、G0の求め方でございます。それをします。
01:25:33	どうしてもルーティンの数がですね少ない。
01:25:38	だから、どうしても、
01:25:40	そういうところに重みがついたりしてしまいますので、それを
01:25:46	というところで、1メーターごとに参加の形にしたんですが、大体これあれですけども、平均を取るとか、
01:25:56	というのが、答え
01:25:58	として、
01:26:03	それと、
01:26:04	はい。
01:26:05	はい。
01:26:08	資料の説明が
01:26:13	前回、
01:26:14	今日もこういう
01:26:17	で、ようやく、
01:26:19	イメージは掴めたというような状況なので、
01:26:23	ここは一つ一つのデータの、

01:26:25	等、
01:26:26	こういう処理をして、コンプラ。
01:26:31	あとこういうように説明をいただきたいなと思います。
01:26:36	ちょっと最後の聞こえにくかったんですがもう少し
01:26:46	広井さんと、
01:26:50	させていただいたようなことをですね、記述していくということでよろしいでしょうか。
01:26:55	はい、その通り。
01:26:59	ということでよろしいでしょうか。
01:27:02	このデータをですねそれぞれ
01:27:06	何を見たいのかということで、もう1回やったのを引いて、読めるということが、
01:27:13	以上です。
01:27:15	接着します。はい。
01:27:17	その通りです。
01:27:19	どういう目的で何をしました。
01:27:23	結論
01:27:24	っていうところですね、も、明確になる。
01:27:29	データの出どころなどとあわせてですね、説明の方充実していただければと思います。
01:27:34	よろしくない上、
01:27:48	電源が、
01:27:57	あれ。
01:27:58	入力信号。
01:28:06	Web020。
01:28:11	光ってます。
01:28:15	何かやってる。
01:28:17	一応、私も、
01:28:19	立ち上げます。
01:28:20	私、
01:28:30	こっちが行きました。
01:28:43	今後再開させていただきます。
01:28:46	よろしく願いいたします。

01:28:49	それでは、規制庁提出をお願いします。
00:00:00	はい、6 お返ししました。
00:00:02	はい。規制庁浜崎です。あ、あ、すみません。先ほどちょっと一旦、
00:00:07	中断したの休憩にしてということになりましたけど、こちらの音声の不備があって、議事がうまく進められなかったので、少し確認事項が残ってますのでそれは
00:00:20	終わりにしてから、休憩ということにしたいと思います。濱崎さん。
00:00:25	はい。規制庁浜崎です。
00:00:27	表層の時、資料のですね46 ページ、流動化処理等について先ほど野本さんの方から、A 或いは B という説明がありましたけれども、
00:00:40	D、B については評価しないとかですね何かそういった趣旨の説明があったと思うんですけども、ちょっともう一度そこ、説明してもらっていいですか。
00:00:59	何かございます。右田赤尾式を持ってる時のところで私が申し上げたのかと思います。
00:01:08	2 本鎖の日についてもパート、
00:01:14	前回金曜日のヒアリングのときに、というふうに伺っております。
00:01:25	、けれども、あの場所でも準備がありまして先ほどの方には、B の
00:01:34	形のデータを恐れてるところ、いろんな1 点でございます。
00:01:41	2 点目は、
00:01:47	何かよ。
00:01:48	この切りバッチていくわけなんですけど、ですね今回の
00:01:57	いたしまして、流動化処理の B の方も、ベータほとんど非番の網掛けをしてると、いうことを見ることでございますので、本当に一番の大瀬。
00:02:10	富樫のについてと設定すると、いうのが日数関係でございます。そういうようなところもですね、なぜだから B がモデルに入っていないのかと言ったようなところの不備も含めて、ちょっとお出しするのかなというふうに、
00:02:24	考えてるところでございますことを補足させていただきました。以上でございます。
00:02:29	はい。規制庁浜崎です。
00:02:31	ちょっと通信状況は悪くて内容が十分聞き取れなかったんですけども、



00:02:38	現行の資料ですと、46 ページがごめんなさい 23 ページ、26 ページに書いてあります A とか B という表記についての説明が、
00:02:50	この資料にはないんですけども、
00:02:52	その資料、A と A とか B に関わる説明が追加されると、そういう資料が今後提出されるという説明でよろしいですか。
00:03:05	関西電力の藤でございます。今を出してるのは右下 26 ページ流通課長 2. だけ書いてるものをご丁重になってるかと思いますけれども、これ A と B を書いたものをお出しする予定。
00:03:16	ございま。
00:03:19	規制庁濱崎です。ちょっと、
00:03:22	25 ページえび飛びというのが今ひとつ十分理解できないんですけども、いずれにしても流動化処理上、A、B についての記載が拡充された形で提出されるというふうに理解しましたので、
00:03:37	その資料のほう確認させていただきます。
00:03:41	はい、神野でございます。承知いたしました。
00:03:44	はい。規制庁山崎です私からは以上です。
00:03:51	超勤です。ちょっと難しいことに発展の時は、
00:03:57	町長岸野です。聞こえてますか。
00:04:03	会館で、すみません理念が聞こえております。はい。規制庁岸野です。尾藤笠田についてですね、ちょっと教えていただきたいのは、
00:04:12	26、
00:04:13	27 ページ以降に断面図が追加されてきて、ちょっと予想に反したのが、随分広い範囲で、用いられている。
00:04:24	ということでした。
00:04:27	私イメージとしては、次山との間の狭い隙間にですね、流動性のある図面ところ、
00:04:37	固化された
00:04:38	土をですね流し込むような流体を流し込むようなものかなと思う。
00:04:42	ですけども断面図を見ますと、ある程度のり面勾配を持たせて掘削されたところに埋め戻しに使われているということで、
00:04:51	この運輸形状からすると想像するにですけど、あまりこう流動性のある液体状のものではなくって、

00:04:59	どちらかという重機開発して締め固めていくような代物なのかなと思ったのですがそのような理解か合ってますでしょうか。
00:05:11	当然設計の宇野でございます。流動化処理移動自体はですね、実際ば
00:05:21	そのままですね
00:05:23	なんでしょう。
00:05:24	ポンプ車ですか、そういうものですね流していくものをだというふうに思っております。ちょっと私もこれ、見た時にですね、随分のり面まで入ってるなというふうな気がしたんですけども。
00:05:38	このように施工されてるといふふうに聞いております以上です。
00:05:42	規制庁の岸野です。はい。
00:05:44	わかりましたというか、
00:05:46	ちょっとそういったものを、施工の方法とか施工時の状況でもし写真とかがあればですね、どういった代物なのか、で、
00:05:57	事業者の説明通りですね、深さ方向或いは平面的にもばらつきとか、
00:06:04	あまり入りにくいものなのか逆に入りそうなものなのかといったところも、
00:06:08	わかるのかなと思いますので、
00:06:11	その辺りの説明を、例えば、現存する写真なんかも交えてですね、
00:06:16	追加をしていただければと思うんですが、
00:06:19	可能でしょうか。
00:06:21	すいません。規制庁加来です。今写真云々って言いましたけどそもそもは施工方法をちゃんと言うってことじゃないですかね。
00:06:29	前にもどっかでは説明聞いてたような気はするんですけど、それがなくていきなり品質データは口頭に
00:06:36	来ちゃうから、話がよくわからなくなるので、
00:06:40	今回最初から申し上げてますけどちゃんと1から、
00:06:44	立ち返って一式の説明をしようという姿勢がまだ足りないってことだと。
00:06:55	はい、当然設計のものでございます。はい。承知いたしました。施工方法等からですね説明させていただいて思いさせていたいただきたいと思えます。
00:07:05	節約します。はい。よろしく申し上げます。以上です。
00:07:09	古作です。今のに繋がるんですけど、流動化処理等の

00:07:16	軸方向含めて平均化しますとやってやるところが本当か、それでいいのかっていうのを、品質を一律でやれる工法なのでってだけ言われていてですね。
00:07:29	でもデータを見る等、若干軸方向に依存性があるように見えると。
00:07:35	ということがあって、埋戻動の方は依存性考えますと言っているのについていう感じもするので、
00:07:40	その点よく整理をして欲しいというところです。
00:07:46	合わせて、
00:07:47	結局これ、どう掴むっていうのがわからないので、
00:07:52	どこまで議論が必要なのかもちょっとよくわかんないんですけどそのあたりってどうなんでしょうか。
00:08:07	今日、関連なのでございます。えっとですねちょっと直接お答えになってるかどうかはちょっとあれなんですけれども、どう使うのかという観点でいきますと表層基盤の
00:08:19	部設置として、表層カー、すいません、その流動化処理移動とそれから埋戻しとそれぞれ別々にですねあんたペアごとの
00:08:29	周辺の
00:08:31	その状況を踏まえて、地元に選定して、このモデルを選定していくということになるというふうに、
00:08:37	ございます。衛藤すいません合意等はそういうところによる。
00:08:42	古作ですその具体がわからないと言っていてですね。
00:08:50	流動化処理度は、建屋の
00:08:54	直近はやっているけど、少し離れれば森野に変わるわけですよ。
00:08:59	そのときに、
00:09:00	流動化処理損のデータをそのまま使うっていうのでなぜいいっていただけるのでしょうか。
00:09:08	関連野本でございます。衛藤建屋周辺といえども、だから流動
00:09:15	処理のども里道が、両方、何ていうかねあるところまでは流動化処理のあるところまでは戻っているな
00:09:24	ところになってるときにどのように使い分けるのかとそういうご質問ということですか。
00:09:29	はい。補足です鷺見須崎です。

00:09:37	安全のことをございます。えっとですねそこにどういものどっち使 うっていう 01 のクライテリアのようなものはないというふうに認識し ていまして、
00:09:48	それぞれの建屋の周辺のその埋め戻し度の施工状況を確認しながらどち らの物性を使うのが、設計上のモデルとして、よりよいのかと。
00:10:03	ということで、それぞれ選定していくことになる、というのがこのやり方 になるというふうに考えてございます。どの建屋にどれかというの、
00:10:14	今回はですね、お示しはしていないところですけども、今後ですねこ の設定のやり方が、木全家それぞれの建屋です。
00:10:24	設定するかというところは、もちろんお示ししていくことになるという ふうに、
00:10:29	でございます。以上です。
00:10:32	はい、古作です。それが今日の一番最初の資料とかでもちゃんと見えて ないと。
00:10:39	どの程度どこで何を議論しなきゃいけないかがわからないので、ちゃん としていただきたいと思ますし、今のように状況状況に応じてってい うのであれば、どういう状況だったらどうするのかっていうところのク ライテリアを、
00:10:52	説明いただかないと、
00:10:54	よくわからないということかと思ますけどそこは説明可能なんです か。
00:11:00	関連の方でございます。えっとですね先ほど申し上げたように 01 でク ライテリアを設けるものではなくって、目の状況を見ながらどちらがベ ターかということ判断していくというのが、
00:11:12	古作です。だからその、
00:11:16	どちらがベターかを考えるといったところのクライテリアはあるのか、 ゼロイチなんて求めてなくて、
00:11:23	クライテリアを述べられるのかと聞いてないっていうんだったら、
00:11:27	そもそも、
00:11:29	説明にならないんじゃないかということになるんですけど。
00:11:33	どう我々に審査して欲しいっていうんですか。
00:11:37	関連のことをございます。失礼いたしましたあれですねどちらが出たか というのをどのように判断するのかということを気になっているという

	ふう理解いたしました。えっとですね、それと資料今ご説明ていうか、また整備してご説明。
00:11:52	すいませんその、
00:11:55	整理してご説明するということにさせていただければと存じます。以上です。
00:12:00	はい、補足です。
00:12:02	そういったところを最初モデルの設定についてということで、今は
00:12:11	一番よくわからないところだから聞いただけなので、最初の積資料でお話した通り、全体として、
00:12:18	今のようなところの制度までしっかりと書き込んで、その上で4意思ということにつなげていただき、最終的にその大元の一般的標準的な設定の考え方クライテリアに基づいて、
00:12:33	その4因子分析結果を入れ込んでいって
00:12:37	各モデルとしてこうしましたと、いうふうにまとめて
00:12:45	管理のもとでございます。
00:12:46	承知いたしました。
00:12:51	と古作です。もう1点だけ
00:12:56	表層についても平均ありきのような形になっていて、品質が云々でってということになってるんですけど、
00:13:04	一方でデータを見る等、2000年でしたっけ、その前後
00:13:11	傾向が違うように見えます。
00:13:14	いうところがかつ、どこだ。
00:13:20	違う、違うと思います。
00:13:26	ワシグマの範囲に、今回のものは入っているから、トータルの負荷分、
00:13:33	确实さ、ばらつきを踏まえた評価の範疇に入っていると。
00:13:39	いう説明のようではあるんですけど、
00:13:43	そもそもそれーです。
00:13:46	の平均化、扱いでいいのかと。
00:13:51	いうこともあって、
00:13:55	もうすでに聞かれたかもしれないんですけど、16ページ2、
00:13:58	その予測値として011次二次三次といろんな分析をされてたりもするんですけど、

00:14:05	このところと、
00:14:13	13 ページですね。
00:14:17	この日数。
00:14:18	2000 年のところ
00:14:21	違ってますというようになっているところ。
00:14:24	2000 年以降はまだいいんですけど、
00:14:27	その前の時に、
00:14:29	これはどう見ても 1g。
00:14:33	線形で、分析できるようなデータに見えない。
00:14:38	ですけど、
00:14:41	それを無理くり一次でやって入るからいいでしょって言われてもこのはずれてる部分本当にいいんですかっていう感じが。
00:14:48	ちゃうんですがそのあたりってすみません熟読してないだけかもしれませんけど。
00:14:53	説明いただけま
00:14:58	あ、関連の方でございます。ですね確かにこれ見た駄目ですね随分違うというのは、おっしゃる通りだというふうに思ってます。
00:15:09	で、これ無理くり分けたというよりはですねこのこのばらつきが、この土肥図材料のばらつきとして見たときに、
00:15:21	ある程度、この程度のものと思われるかどうかというかこれ経験ある方の意見聞きながら、どういうものかなということを判定していくのかなとは思ってるんですけども。
00:15:33	そういう一般的なところどうだということを、技術者に聞いていったところで、このてのばらつきってというのは、普通にこのですね、
00:15:47	この管理の違いというような形ではなくて、このサンプリングのばらつきとしてこの程度出るもんだらうと、というような感覚をもとに、
00:15:59	であればですねこのデータを分けてやるのが非信頼度が良いのか合わせた方が信頼度がある。
00:16:07	というようなことを考えた時に合わせた捕捉しないのが良いんだらうなというそこは我々の判断が若干入るところではあるんですけども、こういう平均で扱っていくと。
00:16:20	いったようなことを施工してると、いうことにはなっております。
00:16:25	以上でございます。

00:16:27	他何かちょっと補足することありますか、古作ですけど、
00:16:33	この程度のばらつきって言うのが何のことだか全然わからなくてですね。
00:16:37	そのあたり、資料で整理されてないんだったらもうちょっと整理をして欲しいと思います。特に、その 12 ページに書いてあったりその前でもあるかと思うんですけど、
00:16:51	後、
00:16:53	李さんでやってしまったがゆえに、
00:16:56	本来は深さ分布が、
00:16:59	ごめんなさい、江藤梅本氏の方ですね、深さ分布が
00:17:05	あったものでやるべきところを李さんの局長のデータだけでやってしまったのでおかしくなりましたと。
00:17:12	いう説明が型をである中でですね。
00:17:16	ここはそう扱わないでなぜいいんだというふうに見えるデータになっているので、
00:17:23	ちょっと、片や
00:17:26	提供出ているのに、いやいいんです。やっぱり 3.7 人って言うおきながらこっちはいいんですと。
00:17:31	ばらつきですって言えちゃうのがよくわかんないですよ。
00:17:35	私の疑問は理解していただけましたかね。
00:17:41	当然設計のものでございます。
00:17:43	実際にですね先ほど小崎さんが仰ってました 17 ページのですね AICC につきましては、これ元データのですね、
00:17:55	データセットのあるペアで求めた G0 がですね、
00:17:59	実際に同様の測定の予測長を予測し、
00:18:04	平均なのか。
00:18:04	もう、会議なのかというふうなことですね、数値統計学上ですね実際に数値を計画でよく用いられてるっていう方法ですね。
00:18:15	がありまして、それで深度依存の方が、予測としては正しい、本来のですね持ってる性質じゃなくって、我々が予測するには、それが最適なモデルであるっていうのがですねこの説明でございました。
00:18:28	それで、13 ページでですね示しているものはですね、これ 1999 年と 2000 年というものをですね比較するときですね、

00:18:38	どうしてもですね、
00:18:39	データが、
00:18:40	後でに参加したデータを使わせていただいて、同じデータのレベルでですね比較を行っております。これ先ほど保坂さんもお話したんですけれども、
00:18:51	されたんですけれどもここで平均でですねこういう検討するのか、それとも設計の段階になってからですね、この±ワンシグマでいいのかというふうな話をですね、不確実性ということで、ここで言いますと新野小のところでですね、
00:19:05	モンテカルロシミュレーションでばらつきがあったとしても、ほぼ平均値に収まる最終的に設計に設計をする時にはですねプラス、
00:19:13	ワンシグマそこでですね同じか。
00:19:15	担保を持っててもですね、その±ワンシグマに平均
00:19:20	で、その中に包絡されるというふうなところの設計の段階も含めてですねこの今波線といいますと我々が用いようとしている、その深度依存の平均値を使うということですね、この絵を書かせ
00:19:33	てもらっております。この辺のことをですねはっきり書きますとちょっとあれは我々の思いがですね強過ぎてしまってですね、今回ちょっとその辺をかけなくてですね書いてない部分もございます。
00:19:43	そのいうことをですねちょっと説明しながらですねもうちょっとわかりやすいように変えていきたいというふうに思っております。
00:19:51	はい。補足です。
00:19:53	少なくとも設計例、手法として、平均を使いつつ、
00:19:59	ばらつきというのを考慮していくと。
00:20:03	いうことは
00:20:05	まさにその手法としてある全体体系だと思うんですね。なのでそれは言っていたらきつつ、ここでもばらつきの範疇に本当にこの
00:20:16	プロットで入るのかっていうのが疑念なので、
00:20:19	それをちゃんと説明できるように検討してもってですね説明ができるようにということで、今の宇野さんの説明だと、ここでプロットしてるのは、限定されてて、
00:20:31	自分たちの施工した、
00:20:36	土壌の競争度の傾向を端的に示してるものじゃないんだと。



00:20:42	いうふう言ってるように聞こえてですね。だとするとこのプロットなんだみたいになるので、その辺りもしっかりと説明をした上で
00:20:53	検討できるようにしていただきたいと思います。以上です。
00:20:58	設計の方でございます。実際にはですね、違うものを見せてるようなんですけども、実際には統計的にですね、数量が多いもんですから、これについてはですね全く同じ会話でも
00:21:10	それが統計の世界だということで、私の方ではですねそういうことも含めてですねご説明させていただきたいと思
00:21:19	古作です。ちょっと統計の世界だと同じになりますっていうのはそもそも統計の母数のとり方とかいうことについてちゃんと説明いただかないと、
00:21:29	納得できないですけど、いずれにしても、整理をした上で話をしましょう。よろしくをお願いします。
00:21:37	はい、東電設計の方でございます。よろしくをお願いします。
00:21:43	規制庁、武田です。
00:21:48	今、ばらつきの話とかもあったんですけど、67 ページに、
00:21:55	前回会合でやっ
00:21:58	ファイナンスの結果ですねシートと、平均よりも、近場の共通の
00:22:05	データだと結構、
00:22:07	ばらつく、スペクトルを一致しないという結果に対して今回、事業者の主張も平均しかるべきということなんですけど、ちょっとその対応として、
00:22:18	66 ページの説明もよくわからなくて、端的になぜ、この 67 ページみたいなパラスタの結果が出ていても、なぜ平均でいけるのかっていうところをちょっと端的に説明いただきます。
00:22:40	赤沢警部の方でございます。えっとですね、ここで教え
00:22:45	会議が出て、
00:22:47	利用について、伸ばせ結果をお示ししても、
00:22:51	出るね。
00:22:52	なぜ平均が控えるのかというのは平均で、使うのが、平均で使う場合とこの解析条件でこのように負担が生じてるということを、これは示して
00:23:08	そうするとですねこの直下の、

00:23:11	赤線、青線でとるのが正しいのかそれとも、この斜めの線で取るのが正しいのかどちらそれべきかということの判定はこの
00:23:23	からはやっでは、今手で、なぜ、
00:23:28	感度解析で出したこの際、生じたのかという分析になっておりまして、平均であるべきか未完であるべきかということは、
00:23:37	にていると。
00:23:39	構成になってございます。以上でございます。
00:23:43	規制庁上出です。
00:23:47	ちょっとよくわからなくて、
00:23:49	平均仮参加というのは、前の方で書いていますというのであればその説明と、
00:23:57	紐づけてですね、なぜこの60名のデータを、
00:24:03	見なくていいのかってことは、みたいですけど、もうちょっと説明できますか。
00:24:09	出野でございます。
00:24:13	かなりポイントしたら申し訳ないんですけども、平均紙単価ってというのは
00:24:18	単に前段で、我々、論じて設問を、一応周りにモニターしてるところでござい
00:24:25	そういうふうに出したときにですね、すでに会合で、感度解析結果というのをお願いしております。そこで随分その表層のですねご提起をこのようにされとると
00:24:37	見られるというのも、来てるか。
00:24:40	目当てに出してるところで、
00:24:44	やはりですね一般の場合、
00:24:47	どういう
00:24:49	何か言われて何であったのかということはこれはご説明が必要であると、日本観点でこれをせる必要があるという認識に至ったものだというふうに理解してる。
00:24:58	でございます。以上です。
00:25:00	規制庁、網です。67-ACのこのずれがですね。

00:25:04	平均家事参加というファクターだけだとするのであれば、同じように、平均と実算で比較をしている警備建屋がほぼ一致していることの説明にならないんですね。
00:25:17	その辺も含めて、夫説明がして欲しいと思ってるんですけど、私の意図はずっと終わりますかね。
00:25:28	承知いたしました上と下がなぜこのように傾向に会議が減ってるのか。
00:25:36	はい。
00:25:38	はい、どうぞどうぞ。
00:25:40	何でかっていう。上と下の比較だけでもなくてですね、さっき話してましたけど、もともと設計の体系として
00:25:50	こういうものは平均で扱いさらに蔵前橋分のばらつきを見ているとか、そういうこともあると思うんですよ。そういう中でイレギュラーものが出ていってかかっていう説明もあるとは思んですけど、
00:26:04	もうちょっとCだけの説明ができればいいとかいうわけでもなく、CとABだけ説明ができればというわけでもなくてですね。
00:26:16	全体考案をして、
00:26:19	このパラスターの話と、今回、取り得る設計の手法等の対応で、今回通り設計が確からしいということをちゃんと説明して欲しいと。
00:26:32	ていうのが私の意図なんですけど、理解いただけますか。
00:26:39	館野でございます。製品について説明するだけじゃなくて前後のこの感度解析の結果を押しなべて、これらはこういうの要因でこうなって、
00:26:51	ということがご説明できるようにということと理解しましたけれども、
00:26:57	規制庁紙ベース。
00:26:59	感度解析の結果がっていうなんか限定か語った時点でまた何か数値がいそうな気もしてるんです。で、読んでて疑問に思うのはそもそも、
00:27:10	デービーだって、これプロットしてが売店テープの場合はΣの外の線にいてですね。
00:27:18	それを持参的だとしても直接引っ張っているから、何か何となくバランスよく引かれちゃってるだけなんじゃないかなって気がしてるんですよ。
00:27:28	なんで、添同じ目に石を見ると青丸が大分左側に寄ったところで取れちゃってます。

00:27:36	ただ、Cのところでは近藤事業者があるとしてその深度依存みたいなことを考慮して、同じような傾きを持ったものだと仮定せば、今度Cが合ってきてBが、
00:27:49	今度はずれてきちゃうみたいなこともあるんじゃないかと思いながら私はデータを見て行って、そういったところも含めてですね、説明がして欲しいなど。
00:27:59	思っているところです。
00:28:00	よろしいですか。
00:28:05	金の方でございます。
00:28:08	だけがわかってないのかもしれない。
00:28:10	けれども、
00:28:11	直下、
00:28:13	生徒引けコールソロがために、こういう理解なんですかね。
00:28:19	することになってしまってるんだけれども、
00:28:22	その直下物性に頻度依存を、
00:28:27	持たせた場合と違いますね。
00:28:31	すみませんちょっと語彙等を理解しきれてないかもしれません。動いたうちの方から、ほぼ当然設計のものでございます今、
00:28:42	広沢果実さんがおっしゃってたのは、Bの方はですねこれはアンシグマから外れてるんで、これに深さ方向依存したならばすごく大きな値になって、違う答えになっちゃうよ。
00:28:55	で、たまたま今言ってるACっていうのは、点がですねこの中心実際のG0の平均に近いところだから震度入れたらば、
00:29:05	全く同じくらいになるから、同じ
00:29:09	というふうに、はい。そのものによって違うよねっていうふうなお話をされてる。
00:29:13	その前段でですね、この例えば
00:29:16	Bのですねこの離れた点自体が、全体のばらつきのうちですね、すごく小さいと。
00:29:23	で、小さいところといいますか偏りのある1個のデータだけを持ってきてるといふようなことで本来だったらば、ここの黒線と、黒破線の、
00:29:34	ある確率密度の中に入ってきますよっていうのが、その前後でですね説明させていただいてることでございますちょっとこの辺のところはわか

	りにくいところがありまして李さんだとかそういう言葉を使って、今説明してますが、その辺のところはですねもう少しわかりやすいような形でですね、
00:29:51	前ページの 66 の方ですね書かせていただきたいというふうに思っております。以上でございます。
00:29:58	はい。規制庁深見です。
00:30:01	C が制度の C なり B もそうですけどさっき室さんおっしゃいましたけど、ばらつきの特異点を取ったんだと、あとたくさんある場合は月の中の、
00:30:14	特異点なんだというのであれば、そういう話も必要ですし、設計として、まずは平均があり、プラマイは CIGMA というので基本的には工学的にはもうそこで、
00:30:26	確からしいところが取れていて、あとは
00:30:31	かなり特異なものなんだというのであればそういう説明をしていただければと思います。今の状態ではそういったところが全くよくわからず、
00:30:42	何となく差が出ている C についてはきっとこんなものでしょうと言って、説明が終わっているというところなのできちっと、
00:30:54	妥当性向の方でございます。承知いたしました。
00:31:03	その他規制庁から確認はございますでしょうか。
00:31:09	よろしいでしょうか。
00:31:11	それでは振り返りに入りたいと思います。
00:31:15	ちょっと、うん。
00:31:17	準備の方に確認ですけれども、振り返りのまとめにきてない時間は十分程度でよろしいでしょうか。
00:31:26	はい。1 回目の方でございます。はい。
00:31:29	よろしくお願いいたします。
00:31:33	はい。規制庁武田です。それではただいま 15 時 46 分ですので、15 時 56 分頃再開いたしますのでよろしくお願いいたします。
00:31:46	では 6 の提出をお願いします。
00:00:00	はい。
00:00:02	録画録音再開しました。
00:00:07	規制庁武田です。

00:00:10	それでは再開したいと思います。日本原燃の方から、本日の振り返りを お願いいたします。画面共有しております。
00:00:20	はい見えてます。
00:00:22	はい。では全体としての案と現在を通してのコメントでございますけ ど、
00:00:28	資料基本にはまでの設定についての導入として、地盤モデル設定に係る 考え方を整理し、一番最初の最上流と最下流をちゃんと整備するという 方のタイトル。
00:00:42	議運の成立ということでございます。4市に対して、整理を行うことの 流れを記載してその上で、各医師に対する一般的より表による整理に繋 がるというのは冒頭の資料として分かるよう構成伝え内容的にするか、 適正化することと、
00:00:58	予算いただいております。
00:00:59	それから各地震における判断に関する説明部分につきまして、どう、ど この条例を参照して話したのかってのはわかるように、引用してる箇所 を6日に記載することとか、
00:01:10	いうことでございます。それは3番目、資料の説明趣旨を踏まえまし て、用語の統一記載の修正適正化ということで、ここで幾つかしており ますけれどもここで、
00:01:22	成果を図ることというのではないと言ったからです。
00:01:24	で、次にですね、これは、
00:01:28	床ロールできますか。
00:01:36	はい。ガンホーの物性値でございます。1番目一般的容量的な気泡の整 理に当たりましては最初から、元の解釈を述べているような記載になっ ているというところでございますのでこれを逆等の期待を
00:01:49	適切に引用した上で説明を行うことということでございます。次、第1 回申請における4Bと同様に単独のピーク系統結果に基づいてご成長さ せて
00:02:00	どっかの地図航路を踏まえた上でPS検層結果の適用性について(10) ということでございます。
00:02:07	次ガンホーの移転形成、まず1番目、非常に応じた月業者のアフターに ついて、これ岩盤部分の減衰定数に係る検討についての資料2、2に対 しましての呼び出しをこの中でちゃんとやるということでございます。

00:02:20	2番目、型とスペクトルの確認における判断の基準につきまして、剛性低下による影響に、とてもをしてどのような観点の確認を行ったのか。
00:02:31	というの、これを丁寧に記載することも含めて、
00:02:35	次、3番も伸びてございます。はい。
00:02:38	すいません。ちょっと戻っていただいて、
00:02:41	4Bの話を書いていたいてますけど、
00:02:46	これって、
00:02:49	数回前の時に、第1回申請での扱いとの関係っていうのもちゃんと考察をしてくださいねと。
00:02:57	いう話があったと思うんですけど。
00:03:01	その上でなんでこの断面で我々が言わなきゃいけない状態になってるのかっていう状況をちょっと教えていただけますか。
00:03:10	ですねえ。
00:03:14	そうですね。大友個別のですねその家設定との差分を、すいませんちょっと分析が書き足りていなかったというのを挙げてございまして
00:03:25	総論として平均2番5点を使っていたというところに対してのざくっとしたちょっと書き方だけにとどめ、
00:03:34	このまま反省って何かなど、どうも。
00:03:38	ということかというふうに
00:03:40	思っております。ちょっとなぜかという私はそういうことだというふうには思っております。
00:03:45	はい。補足です。第1回申請の部分は、
00:03:49	野本さんはいらっしゃらなかったの、どんなことをやっていたのかっていうのがわかってなかったからっていうことはあるかなと思うんですけど、第1回申請でその、
00:04:00	地盤のモデルをどう設定するかというのは、一番大きな論点であって、それを踏まえてこういうふうにやりましょうということにした。
00:04:10	内容そのものです。なので、今回振り返るにあたってどうしたのかという時にこの視点がそもそも出てないと、原燃の申請対応者としてちょっと問題があるなというふうに
00:04:23	出ます。
00:04:24	これが一番大きいのでコメントしてありますけど、他にも含めて、ちゃんと第1回の時の申請をした内容のミソっていうのを、

00:04:34	改めて、
00:04:37	書き下して行って、今回との関係っていうのをしっかりと見比べる。
00:04:43	整合をとる。
00:04:45	或いは違いがあるならば、なぜ違うのか、それぞれの妥当性と、
00:04:51	いうことを説明いただかないといけないかなと思ってまして、
00:04:57	その点では減衰の本をですね、
00:05:00	何となく書いてます。審査会合資料の方でも書いてますけど、
00:05:06	まだ分析は十分じゃないかなというふうには思っ
00:05:09	て。
00:05:11	前回のヒアリングとかでも話したことがちゃんと器具か聞く出せていないとかっていうところもあるので、その点は
00:05:18	振り返りの資料は、物性の②だけでいいですけど、全体しっかりと見て
	ください。
00:05:27	承知しました確かにですねこれまでのあるべき、良い言い方ですけども
00:05:36	基本地盤モデルを作成するところ
00:05:40	へちゃんぽん振り返りというところにあまり鳥取で起きなかったという
	ところなんですけれども、これは
00:05:51	持ってるところで、
00:05:55	これも、もう小高思います強いところのところ、我々ちょっと目線と
	してすごい力点を
00:06:03	持って、
00:06:08	はい、古作ですちょっとあの音声もうまく、
00:06:12	伝わってこなかったんで、
00:06:16	詳細はちょっと掴みきれてないんですけど、分析が不足していたところ
	があると思うので改めてしっかりやりますということでよかったです
	か。
00:06:28	はい。はい。承知いたしましたの橋田でございます。
00:06:32	はい。補足です。わかりました。そしたら説明を続けてください。
00:06:38	はい。
00:06:39	私はどこまで行った、いや、水井まで行ったかな。



00:06:45	減衰のところからでございます。長 2 番 EW 方向のシミュレーション解析結果の退職等が大きいことについての考察について、詳細説明となるようにこれも、
00:06:57	きちんとわかるように拡大しなさいというコメントかというふうに、
00:07:01	次に表層地盤の墓石でございますけども、冒頭、
00:07:04	大北について一般的な考え方ベースとして、その元
00:07:09	引地の方に展開したという考え方がわかるように修正することと、いうことをいうことでございます。
00:07:17	2 番目、4 ページ目に留まって、品質はアンリツであることの説明と、
00:07:22	今の調整や巻き出し朝など具体的な施工方法について、
00:07:27	大変 2 番 0 板野含め出た場合はそういうのも含めて説明確認をすることみたい
00:07:33	6 ページ目の※2 ですけども、
00:07:36	データがある場合はそのデータをもとに締固めと強度の相関がとれるように、
00:07:40	で 9 ページ目のローテート 20 の整備や、歳出について本部長、
00:07:47	いただいて、
00:07:49	何ページを離散 CABRI
00:07:51	これは 2、3 日平均であることがわかるように中、
00:07:54	6 番目、13 ページ施工年代別の分析員から大きなビルに決まって、映像の目的はどのように作成したか、説明を拡充と。
00:08:03	7 番目に誘導震度エイビの説明ですねこれ今、50 見せるものでは追記しておりますので、
00:08:13	で、次の週に、
00:08:17	を整理した上で、技術管理状況、
00:08:21	9 番目、ルート箇所について具体的な施工方法
00:08:24	についてこうされ物性として、平均を用いて良いことを説明する。
00:08:28	2 番目施工年代別に全ポンプについて平均と呼びますか。
00:08:33	での減速データ、プラマイポンプ、
00:08:37	プラマイ和智マットの関係性に等について説明。
00:08:42	31 番目、分析結果に対する古作について設計上考慮する場合られて、
00:08:49	振り返りは以上でございます。
00:08:54	規制庁規制庁竹田ですありがとうございます。

00:08:58	はい、どうぞ。
00:08:59	藤上出ですけど、ちょっと表層の①番から映してもらえますか。
00:09:06	表層なので、
00:09:13	はい、規制庁、五味、兵頭宗野。
00:09:16	②番の耐震地盤 011 で基本方針なんですけどこれと、ちょっと具体的な施工方法ってどういう関係にあるのかよくわからなかったんですけど、どう、どんなことをイメージされ、
00:09:28	って書いてますか。
00:09:32	いや、
00:09:34	当然設計のものでございます。
00:09:37	01 の方はですね、どちらかというと、液状化試験等でですねいろんな粒度とかっていうものをですね、書いているので、
00:09:45	ちょっと今書いているものはこういうふうに書いておりますが、そのつなげたらですね持って来れるようなものはこちらの方に提供したいというふうに思っており、
00:10:02	そういう意味では、今回の補足説明を全体として、今回の補足というか、耐震全体としてちょっと補足をどういう
00:10:14	形でやっていくかっていうのは、考える必要があると思いますかそれはそのネタとして認識いただいて、事前にしてもネタを探しておいてもらってません。必要な説明はとりあえずしてもらって、
00:10:30	はい。当然関野でございます。承知いたしました。
00:10:38	はい、規制庁川満後、私からは表層の一番最後のところ
00:10:49	で、款 11 番ですね、管理部解析の高卒って別にばらつきと D たの位置付けだけ、対応していればいいというわけでも、
00:11:00	なくて、いずれにしてもそのどういう設計なのかということと、感度解析の結果と、原燃がやる設計とする。
00:11:11	一度出て、
00:11:14	ちゃんと説明してくれという
00:11:16	あまり限定してとらえずに、
00:11:19	下、検討いただければいいですし、
00:11:22	途中で何か
00:11:25	したいことがあれば、適宜ヒアリング

00:11:32	作業時間をかける前に意識を合わせておくということでもできますから、そのあたりは適
00:11:48	か観点のことでございます承知いたしました。またよろしく願いいたします。
00:11:53	規制庁、古作ですけどちょっと補足をするので、
00:11:58	若干まだ、
00:12:01	そんな感じがして、
00:12:03	全体に共通するのは、実際に獲られているデータっていうのが、どういう素性のものなのかと。
00:12:11	いう事実関係をまず明確にするっていうこと品質管理データを示してくださいとかっていうのをこちら申し上げていたので、
00:12:20	QMSとしてこうやってますただ言うとかって言うことじゃなくて、このデータはこういう代物ですということをちゃんとと言うということであり、
00:12:29	最後の11番との関係で言えば、
00:12:33	ここ使ったデータはこの部分の、こういう施行の時のもので、
00:12:39	いうことがあって同時期のものだったり同同一の品質ってあるものと、
00:12:44	いうことが確実なデータとしてもこんだけばらつきがありますとかですね。
00:12:49	いうことどういうものを使っているのかという、
00:12:54	実態をちゃんと
00:12:55	打とう。
00:12:57	じゃあ、こういうのが適切だねっていうことがわかってくるんですけど。
00:13:01	そういうのを全部はしょって何となく思っていることを言われちゃうからわからないと。
00:13:07	ということなので、一つ一つしっかりと説明するっていうことに尽きると思ってます。よろしく願いします。
00:13:17	高根でございます。
00:13:19	出しました。
00:13:27	規制庁竹田ですその他、振り返りについて何か規制庁側からコメントございますでしょうか。
00:13:36	よろしいでしょうか。全体を通して何かございますでしょうか。

00:13:41	規制庁上出です。
00:13:47	今後どう進むのかなというのが進め方ヒアリングでもあまり確認できていなかったんですけど、あれですかね、明日ラップアップの期間でしょうから分時話します。
00:14:02	出野でございます。よろしくお願いたします。
00:14:06	と、規制庁紙ですなのであまり時間もないですけど、特に、
00:14:13	今日久野振替だと表層がかなり宿題が多い感じにはなってますけど、どういことをいつぐらいの話ができるのか、できそうなのかってのはちょっと考えておいてください。
00:14:25	はい。管野でございます。承知いたしました。
00:14:33	はい。その他全体を通して何かございますでしょうか。
00:14:38	赤根の方でございます。ちょっと日本原燃側からでございますけれども、本日のをいただきましたコメントですね踏まえまして、また、補足説明資料、前のバージョンでございますけど、
00:14:50	もう後、記載を修正技術して参りたいと思っておりますけれども、
00:14:56	ひとまず明日のですね会合に詰めていただく費用についてのご相談でございます。今日のいただきました。
00:15:04	これをすべてもう
00:15:06	反映するのちょっと不可能かなというふうな、
00:15:10	いますけれども、
00:15:11	最低限ですね誤記に関するものは修正させていただきたいと、いうことでございまして、事前の資料の補足です。
00:15:21	後規定だったら別に修正しなくていいですよ。
00:15:26	議論しませんので、ありがとうございます。
00:15:28	もうすでに今終戦詰まってるものがございますので、もうそれだけちょっと出させていただくという形にさせていただこうというふうに思っております。
00:15:35	以上でございます。
00:15:42	ごめんなさい出させてもらいますっていうのは、事務的にはもう出す。
00:15:47	状態になってたと思ってたんですけど。
00:15:50	だけでも、事務的にえっとですね、営業6人の
00:15:55	ところにもうのっけさせていただいたのかな、そういうところでございます。

00:16:00	方策ですわかりました。
00:16:02	はい。
00:16:07	その他何かございますでしょうか。
00:16:12	よろしいでしょうか。
00:16:14	それでは本日のヒアリングは営業とさせていただきますお疲れ様でした。
00:16:20	ございましたか。